

第七十四回帝國議會  
衆議院

昭和十三年法律第六十四號中改正法律案(兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件)外一件 委員會會議錄(速記)第二回

<p>昭和十四年三月十五日(水曜日)午前十時三十九分開議</p> <p>出席委員左ノ如シ</p> <p>委員長 岡崎久次郎君</p> <p>理事北原阿智之助君 理事坂田 道男君</p> <p>理事大野 一造君 理事世耕 弘一君</p> <p>松尾 四郎君 清 寬君</p> <p>宮澤 胤勇君 小笠原三九郎君</p>	<p>南 鼎三君 田万 清臣君</p> <p>同月十一日委員中田儀直君及今井新造君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小笠原三九郎君及田川大吉郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ</p> <p>同日昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)、</p>	<p>昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)、昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)、昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)、支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)</p>	<p>付託議案</p> <p>昭和十三年法律第六十四號中改正法律案(兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件)(政府提出)</p> <p>朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律案(政府提出)</p> <p>昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)</p> <p>昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)</p> <p>昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)</p> <p>昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)</p> <p>支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)</p> <p>災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)</p> <p>登錄稅法中改正法律案(政府提出)</p> <p>有價證券移轉稅法中改正法律案(政府提出)</p> <p>昭和十三年法律第八十七號中改正法律案(本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル件)(政府提出)</p>
--	---	--	--

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局次長 原 邦道君

對滿事務局事務官 竹内 徳治君

大藏政務次官 松村 光三君

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

大藏書記官 田中 豊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十三年法律第六十四號中改正法律案

(兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件)(政府提出)

朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)

登録稅法中改正法律案(政府提出)

有價證券移轉稅法中改正法律案(政府提出)

昭和十三年法律第八十七號中改正法律案

(本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル件)(政府提出)

岡崎委員長 只今カラ昭和十三年法律第六十四號中改正法律案外一件ノ委員會ヲ開會致シマス——矢野政府委員

○矢野政府委員 只今議題トナリマシタ昭和十三年法律第六十四號中改正法律案外十

法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於テ説明致シタ通りデアリマスガ、茲ニ改メテ説明ヲ致シマス

先ヅ昭和十三年法律第六十四號中改正法律案提出ノ理由ヲ説明申上ゲマス

支那事變勃發以來軍需ノ急増ニ依リマシテ一般經濟活動ハ急激ナル膨脹ヲ來シ、之ニ伴ヒマシテ兌換銀行券ノ發行高モ増加シ、屢、制限外發行ノ出現ヲ見ルニ至リマシタ

ノデ、昨年四月政府ハ兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律ヲ施行致シマシテ、兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ當分

ノ内十七億圓ト致シタデアリマス、然ルニ其ノ後ノ經過ヲ見マスルノニ、事變ノ進

展ト共ニ一般經濟取引ノ膨脹ニ依リ兌換銀行券ノ發行高ハ依然増加シテ參ツタデア

リマシテ、其ノ平均發行高ニ於キマシテモ、昭和十三年ハ前年ニ比シ三億八千四百萬圓

ヲ増加シテ十九億一千九百萬圓ト相成ツタデアリマス、又昨年七月ニハ日本銀行ノ

正貨準備ヨリ三億圓ヲ割キ新ニ外國爲替基金ヲ設定致シタ結果トシテ、右臨時擴張ノ

效果ハ同金額ダケ減殺サレタ關係モアリマシテ、昨年十一月以降ニハ屢、制限外發行

ヲ見ルニ至ツタデアリマス、而シテ今後ニ於ケル兌換銀行券發行高ノ趨勢ヲ推測致

シマスルニ、事變ニ關聯シテ諸般ノ經濟活動ハ依然伸張ヲ續ケ、之ニ伴ヒマシテ通貨

ノ所要量モ増大シ、延イテハ兌換銀行券ノ發行高モ尙増加スルモノト考ヘラレルノ

デアリマス、斯ル次第デアリマスカラ、此

ノ際曩ニ臨時ニ擴張セラレマシタ兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ更ニ五億圓擴張シテ之ヲ二十二億圓ト爲シ、以テ通貨ノ供給ヲ圓滑ナラシメテ、金融ノ疏通ト財政ノ運営ニ

支障ナカラシメ、併セテ制限外發行ノ頻發ニ伴フ無用ノ刺戟ヲ除去スルコトヲ必要ト認メマシテ、本法法律案ヲ提出シタ次第デア

リマス

次ニ、朝鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律案ニ付テ

説明致シマス、朝鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ノ保證發行限度ハ曩ニ昭和十二年九月之ヲ

ソレト一億圓及ビ五千萬圓ニ擴張致シタデアリマスガ、爾來支那事變ノ進展ニ依

リマシテ、朝鮮及ビ臺灣ニ於ケル一般經濟取引ハ急激ナル増大ヲ來シ、之ニ伴ツテ朝

鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ノ發行高ハ顯著ナル増加ヲ示スニ至ツタデアリマス、即チ

兩銀行券ノ昭和十三年中平均發行高ハ各二億六千四百餘萬圓及ビ一億一千餘萬圓デア

リマシテ、之ヲ支那事變勃發直前ノ一年間ノ平均發行高ニ比較致シマスル時ハ、

各九千八百餘萬圓及ビ四千餘萬圓ノ著シキ増加ヲ來シタデアリマシテ、兩銀

行券共一昨年末以降大體毎月制限外發行ノ現出ヲ見テ居ルノデアリマス、而シテ今後

ニ於テモ支那事變ニ關聯シテ朝鮮及ビ臺灣ニ於ケル諸般ノ經濟取引ハ益増大ヲ續ク之ニ伴ツテ兩地ニ於ケル通貨ノ需要量モ更ニ増大シ、延イテハ朝鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ノ發行高モ一層増加ヲ來タスモノト認メラレノデアリマス、斯様ナ兩銀行券ノ發行高増加ノ趨勢ニ對シマシテ、兩銀行券ノ仕拂準備ノ充實ニ依リマシテ、或ル程度マデハ對處シ得ルト致シマシテモ、尙ホ其ノ保證發行高ハ今後著シク増加スルモノト認メラレノデアリマシテ、兩銀行券ノ保證發行限度ヲ現在ノ儘ニ致シテ置キマス時ハ、今後愈々制限外發行ノ頻出ヲ見ルニ至ルモノト認メラレ、斯クテハ朝鮮及ビ臺灣ニ於テ經濟取引上必要トセラレル通貨ヲ圓滑ニ供給致シマスル上ニ支障ヲ生ズルコトナキヲ保シ難イノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスノデ、朝鮮及ビ臺灣ノ經濟界ノ推移並ニ朝鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ノ發行狀況等ヲ考慮シ、支那事變ニ關聯スル臨時的措置トシテ、兩銀行券ノ保證發行限度ヲ各六千万圓及ビ三千万圓擴張シ、ソレト一億六千万圓及ビ八千万圓トスルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シタノデアリマス

律案ニ付テ説明致シマス、一般會計ニ於キマシテハ、臨時軍事費ノ一部ニ充テマスル爲今回再ビ租稅ノ増徴、新稅ノ創設等ヲ行フコトト致シマシタノデ、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計ニ於キマシテモ、一般會計ニ於ケルト同様ナル趣旨ノ下ニ概ネ之ニ準ジマシテ、清涼飲料稅、砂糖消費稅、出港稅、印紙稅、臨時利得稅、利益配當稅、公債及社債利子稅又ハ物品稅ヲ増徴スルト共ニ、物品稅ノ課稅範圍ヲ擴張シ、建築稅、遊興飲食稅又ハ遊興稅ヲ創設スルコトト相成リマシテ、其ノ收入額ノ一部ニ相當スル金額ハ之ヲ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ、臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトト致シマシタル所、是ガ會計上ノ處理ニ關シマシテハ、昭和十三年法律第二十三號中改正ヲ必要ト致シマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付テ説明致シマス、支那事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ、第七十一回、第七十二回及ビ第七十三回ノ各帝國議會ノ協贊ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマシタガ、事態ノ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事費四十六億五百万圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル所、其ノ所要財源中六億八千九百餘萬圓ニ付キマシテハ一般會計及ビ各特別會計ヨリ繰入金、軍事費獻納金等ヲ以テ充當シ、三十九億二千四百餘萬圓ニ付キマシテハ之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマスル爲メ、昭和十二年法律第八十四號中ノ公債發行限度ヲ増額スルノ必要ガアリマス

次ニ昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲メ公債追加發行ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、昭和十四年度歳入歳出總豫算ニ伴フ一般會計歳入不足ノ補填ニ付キマシテハ、既ニ法律案ヲ今期議會ニ提出シテアリマスルガ、今回別途提出致シマシタル同年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ計上セル經費ノ所要財源總額九億千五百餘萬圓ノ内、増稅其ノ他ノ普通歳入ヲ以テ充當スベキ分一億八千二百四十餘萬圓ト、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ公債法ニ依ル公債金ヲ以テ充當スベキ分三億六千四百七十餘萬圓トヲ差引キタル殘額三億六千三百二十餘萬圓ハ、今日ノ場合之ヲ公債ニ依ルノ外ハアリマセヌノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、尙ホ本法律案ハ前述ノ如ク總豫算ニ伴フ歳入補填公債法案ガ目下御審議中ナルニ顧ミマシテ、別ノ法律案ト致シマシタ次第デアリマス

次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案ニ付テ説明致シマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ、其ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ付キ第六十一回帝國議會ノ協贊ヲ經テ制定セラレ、其ノ後七回ニ互リ改正セラレマシタ現行ノ昭和七年法律第一號ニ依リ、昭和十三年度迄ノ當該經費ノ財源トシテ總額十三億八千五百萬圓ヲ起債シ得ルコトト相成ツテ居リマスル所、昭和十四年度一般會計ニ於テ滿洲事件費トシテ引續キ必要ナル金額三億六千九百十餘萬圓ノ内、關東軍宿舍整備ニ要スル營繕費ノ財源トシテ國有財産整理資金特別會計ヨリ一般會計ニ繰入ルル金額四百三十餘萬圓ヲ差引キマシタル殘餘ノ三億六千四百七十餘萬圓ニ付キマシテハ、今日ノ財政情況並ニ本經費ノ性質ニ顧ミマシテ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル所、昭和十二年度ニ於ケル滿洲事件費ニシテ公債財源ニ依ルベキ豫定ナリシ分中、決算上不用トナリタル金額等ガ千七百十餘萬圓アリマスル爲メ、差引三億四千七百六十萬圓ダケ前述ノ昭和七年法律第一號ニ依ル公債ノ發行限

度ヲ増額シ、十七億三千二百六十萬圓トスルノ必要ガアリマスノデ、本法案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、支那事變ニ從軍シ名譽アル戦死ヲ遂ゲラレマシタ陸海軍軍人軍屬等ノ遺族ニ對シ賜與セラレマスル所ノ特別賜金ニ付キマシテハ、其ノ實施初期ノ間ニ於テハ現金ヲ以テ交付致シ、昭和十三年八月以降ニ於テハ當該豫算ヲ以テ大藏省預金部又ハ日本銀行ヨリ買上ゲマシタル公債ヲ以テ交付致シテ參リマシタガ、右ハ諸般ノ事情ヨリ考察致シマシテ寧ロ交付公債發行方法ニ依ルノヲ適當ト認メマシタル所、是ガ爲ニハ公債發行ニ關スル法律ノ制定ヲ必要ト致シマスルノデ、本法案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、從來相當廣汎ナル地域ニ互リマシテ、震災其ノ他ノ被害甚大ナル災害ガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ都度法律又ハ緊急勅令ヲ制定シテ、租税ノ減免、徵收猶豫等ヲ行ツテ參ツタノデアリマスガ、從來ノ如ク災害ノ都度法律等ヲ制定シテ救済ヲ致スト云

フコトデハ、災害ノ發生致シマシタ時日ノ關係等ニ依リマシテ、充分敏速ニシテ適切ナル措置ヲ講ジ難イ憾ミガアツタノデアリマス、從ヒマシテ此ノ際災害發生ノ場合ニ對處スル爲ノ根據法ヲ制定致シテ置キマシテ、被害甚大ナル災害ノ發生致シマシタ場合ニ於テ、命令ニ依リ直チニ租税ノ上適切ナル救済措置ヲ講ジ得ルヤウニ致シテ置クコトヲ適當ト認メ、此ノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、法律案ノ内容ハ被害甚大ナル災害ガ發生シタ場合ニ於テ、特ニ必要アリト認ムルトキハ、政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、被害者ノ納付スベキ國税及ビ被害物件ニ對シ課セラルベキ國税ニ付キ之ヲ輕減又ハ免除シ得ルト共ニ、之ニ關聯致シマシテ課税標準ノ決定又ハ更訂、課税ニ關スル申告及ビ申請並ニ納期ニ付キ特例ヲ設ケ、又特別ノ徵收猶豫ヲ爲シ得ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、昨年七月ノ神戸市ヲ中心トスル風水害等ニ付キマシテハ、法令ノ許ス範圍内ニ於テ出來得ル限りノ救済措置ヲ講ジテ參ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ法律案ガ御協賛ヲ經マシタ上ハ、差當リ是等ノ災害ニ適用致シマシテ遺憾ナキヲ期シタイ見込デアリマス

次ニ登錄稅法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、本法案ハ商法ノ改正及ビ有限會社法ノ制定ニ伴ヒマシテ、新ニ定メラレマシタ登記ニ付キ、登錄稅ノ課否ヲ明カニスル爲、登錄稅法ヲ改正セントスルモノデアリマス、先ヅ有限會社ノ設立及ビ資本増加ノ登記ニ付キマシテハ、商法上ノ會社ノ設立及ビ資本増加ノ登記ト同様、出資ノ價格又ハ増出資ノ價格ノ千分ノ五ノ稅率ニ依リ課稅スルコトニ致シタノデアリマス、次ニ改正商法ニ依リマシテ、一定ノ條件ノ下ニ社債ヲ株式ニ轉換シ得ル制度ガ設ケラレルコトニナツタノデアリマスガ、此ノ社債ノ轉換ニ因ル資本増加ニ付キマシテハ、其ノ性質並ニ本制度設定ノ趣旨ニ顧ミ、其ノ轉換シタル社債ニ付キ納メタル登錄稅額ヲ控除シテ課稅スルコトニ致シタノデアリマス、又改正商法ニ依リ新ニ定メラレマシタ登記ハ相當多數ニ上ツテ居リ、其ノ中ニハ現行登錄稅法ノ規定ニ依リ當然課稅シ得ルモノモアルノデアリマスガ、從來ノ登記トノ權衡上、新ニ課稅ノ規定ヲ要スルモノモアルノデアリマス、例ヘバ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役、監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記ノ如キモノデアリマス、是等ノ登記ニ付キマシテハ現行ノ

稅率ヲ勘案致シマシテ、二圓乃至十圓ノ定額稅率ニ依リ課稅スルコトト致シタノデアリマス、又改正商法ニ依リマシテ株式會社ニ付キ新ニ整理及ビ特別清算ノ制度ガ設ケラレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、本制度ハ會社ガ支拂不能又ハ債務超過ニ陥ル虞アル場合ニ、裁判所ノ指揮監督ノ下ニ、會社、株主及ビ一般債權者ノ利益ヲ公正且ツ衡平ニ保護セントスル趣旨ニ出ツルモノデアリマスノデ、會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シ、裁判所ノ囑託ニ因リテ爲ス登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ此ノ登錄稅法中改正法律案ハ商法中改正法律案等ノ施行ト同時ニ施行致ス見込デアリマス

次ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ニ付キマシテハ、現在有價證券移轉稅ヲ課セザルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り政府ニ於キマシテハ國債消化ノ一助トシテ、昨年八月以來小額面ノ國債ヲ發行シ、又近ク割引ノ方法ニ依リ小額面ノ國債ヲ發行スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、仍テ是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテハ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコト

次ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ニ付キマシテハ、現在有價證券移轉稅ヲ課セザルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り政府ニ於キマシテハ國債消化ノ一助トシテ、昨年八月以來小額面ノ國債ヲ發行シ、又近ク割引ノ方法ニ依リ小額面ノ國債ヲ發行スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、仍テ是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテハ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコト

次ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ニ付キマシテハ、現在有價證券移轉稅ヲ課セザルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り政府ニ於キマシテハ國債消化ノ一助トシテ、昨年八月以來小額面ノ國債ヲ發行シ、又近ク割引ノ方法ニ依リ小額面ノ國債ヲ發行スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、仍テ是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテハ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコト

ヲ適當ト認め、本法律案ヲ提出致シタ次第  
デアリマス

終リニ昭和十三年法律第八十七號中改正  
法律案ニ付テ説明致シマス、本邦内ニ於テ募  
集シタル外國債ニ關シマシテハ、昨年ノ議  
會デ御協賛ヲ經マシタ昭和十三年法律第八  
十七號ニ依リマシテ、命令ヲ以テ定メタル  
一定ノ外國債ニ限リマシテ、租税ノ賦課又

ハ納税ノ擔保ニ關シテノミ國債ト同様ノ待  
遇ヲ與フルコトト相成ツテ居ルノデアリマ  
スルガ、爾今右待遇ノ範圍ヲ租税ノ賦課又  
ハ納税ノ擔保ノ場合ノミニ限ルコトナク、  
廣ク政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ノ總  
テノ場合ニ於キマシテモ、國債ト同様ノ待  
遇ヲ與ヘマスルノ適當ト認めマシテ、本  
法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、  
以上十一件ニ付キマシテ何卒御審議ノ上御  
贊成ヲ願ヒマス

○岡崎委員長 皆サンニ御諮リ致シマス、  
本十一件ノ法案ハ其ノ取扱方ヲ三ツニ分ケ  
マシテ、第一ガ昭和十三年法律第六十四號  
中改正法律案、朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ  
保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律案、  
此ノ二ツガ兌換券發行デアリマシテ、之ヲ  
一組ニ取扱ヒタイト思ヒマス、更ニ公債發  
行ノ件ガ六件、之ヲ一括シテ取扱ヒタイト

思ヒマス、ソレカラ税法ニ關スル件ガ有價  
證券移轉税ト登錄税法中改正法律案、災害

被害者ニ對スル租税ノ減免、徴收猶豫ト云  
フ此ノ三ツガ税法デアリマス、以上三ツニ  
分ケテ取扱フ致シタイト思ヒマス、但シ質  
問ハ全體ヲ通ジテナスツテ戴イテ差支ゴザ  
イマセヌ—デハ只今カラ質問ニ入りマス

○松尾委員 私ハ大藏大臣ニ對シテ一二點  
御伺ヲ申上ゲタイト思ヒマス、茲ニ提案サ  
レマシタ議案ノ中最モ重要ナルモノハ、多  
額ノ公債發行ノ件デアリマスガ、是ハ既ニ  
豫算委員會ニ於テ質疑應答ガ盡サレテ居リ  
マスカラ、此處デ今更繰返シテモ、仕様ガナ  
イト思ヒマス、隨テ餘リ論議ヲスル必要モ  
アルマイト思ヒマスガ、唯私ハ今後此ノ多  
額ノ公債ヲ發行シテ行キマス上ニ、一ツノ  
大キナ障碍ガ起ルノデハナイカト云フコト  
ヲ考ヘマスノデ、其ノ點ニ對スル御所見ヲ  
伺ツテ置キタイトデアリマス、昨年ノ議會  
以來今期議會ヲ通ジマシテ、政府ノ元利金  
ヲ保證シテ居リマスル特殊會社ガ澤山出來  
テ參リマシテ、此ノ社債ヲ全部豫定シテ考  
ヘテ見マスルト、少クモ四十數億圓ニ上ル  
ヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ皆ドレモ  
六米以上ノ保證ヲサレルコトニナツテ居リ  
マス、其ノ中發送會社ノ社債ハ四米見當

ニナツテ居リマスガ、他ハ大概六米ニナツ  
テ居リマス、ソコデ此ノ發行ガ澤山後カラ  
起ツテ來ルト、採算上公債ヲ賣ツテ社債ニ  
乗換ヘルト云フヤウナ形ガ起ツテ來ルト思  
フノデスガ、公債ハ時價ヲ維持シテ居ルト  
云フコトガ最モ必要ナ條件デアルコトハ申  
スマデモアリマセヌ、色々公債ノ消化ニ付  
テ、是ダケ大量ノ公債ヲ消化スルノニ、前  
途ニ非常ナ難關モアリマシテ、大臣ニ於テ  
ハ色々ナ方策モ講ゼラレルト思ヒマスケレ  
ドモ、歸スル所公債ノ時價ガ維持サレテ居  
ツテ、何時デモ百圓ノ公債ハ百圓ニ引換ガ  
出來ルト云フコトデアレバ、安心シテ公債  
ヲ持ツテ居リマスカラ、公債ノ消化ハ最モ  
易イコトト思ヒマス、併シ此ノ時價ガ維持  
出來ナイデ、安心シテ持ツテ居ラレナイト  
云フコトニナルト、茲ニ公債ヲ一時ニ賣出  
スト云フコトニナレバ、其ノ公債ノ價ヲド  
ウシテ維持スルカト云フコトガ、非常ナ難  
問題ニナルノデハナイカ、一タビ少シ値ガ  
下リサウダト云ヘバ、經濟界ハ御承知ノ通り  
非常ニ神經過敏デスカラ、之ヲ賣出スト大  
變ナコトガ起ツテ、遂ニハ經濟界ニ恐慌ヲ  
起スト云フヤウナコトマデ考ヘナケレバナ  
ラスト思フノデスガ、斯ウ云フ場合ノ方策  
ヲ考ヘテ居ラレマスカ、勿論御考ニナツテ

居ルト思ヒマスガ、其ノ場合ニ對スル處置  
ニ付テ御意見ヲ伺ツテ置キタイトデス

○石渡國務大臣 松尾サンノ御尋ノ、第一  
點ハ、政府保證ノ社債ガ相當多額ニ見積ラ  
レテ居ルノデ、是ガ公債消化ノ妨ゲニナル  
ノデハアルマイカ、斯ウ云フコトデゴザイ  
マス、是ハ今松尾サンハ六分ト仰シヤイマ  
シタガ、六分ハ配當ニ掛ツテ居ルモノデゴ  
ザイマシテ、社債ニ付キマシテハ六分ト云  
フコトハゴザイマセヌ、是ハ其ノ時ノ市場  
ノ如何ニ依ツテ發行致シテ行ク譯デゴザイ  
マシテ、今日發行シテ居ルモノモ大抵四分  
二厘、三厘ト云フ程度ノモノデゴザイマス、  
從來發行シタ經路ヲ考ヘテ見マス、先ツ  
政府ガ保證シテ居ルノデアルカラ、三分五  
厘ノ公債ニ少シモノ生エタ程度ノ利子デ是  
ガ發行出來ルカト云ヒマス、申々サウ行  
キマセヌ、詰リ普通ノ社債デアラナラバ持  
ツト云フヤウナ所デモ、政府ノ保證ガアツ  
テモドウモ斯ウ云フ新シイ會社ノ社債ヲ持  
チタクナイト云フヤウナ向キモゴザイマシ  
テ、結局政府ガ保證スルト云フコトデ、普  
通ノ一流ノ社債並ノ發行ガ出來ル、斯ウ云  
フコトガ今日ノ現狀デゴザイマス、ソレデ  
先ヅ一流社債ト同様ナ發行ヲシテ行クト云  
フコトニナル譯デアリマス、多少ソコニ政

ニナツテ居リマスガ、他ハ大概六米ニナツ  
テ居リマス、ソコデ此ノ發行ガ澤山後カラ  
起ツテ來ルト、採算上公債ヲ賣ツテ社債ニ  
乗換ヘルト云フヤウナ形ガ起ツテ來ルト思  
フノデスガ、公債ハ時價ヲ維持シテ居ルト  
云フコトガ最モ必要ナ條件デアルコトハ申  
スマデモアリマセヌ、色々公債ノ消化ニ付  
テ、是ダケ大量ノ公債ヲ消化スルノニ、前  
途ニ非常ナ難關モアリマシテ、大臣ニ於テ  
ハ色々ナ方策モ講ゼラレルト思ヒマスケレ  
ドモ、歸スル所公債ノ時價ガ維持サレテ居  
ツテ、何時デモ百圓ノ公債ハ百圓ニ引換ガ  
出來ルト云フコトデアレバ、安心シテ公債  
ヲ持ツテ居リマスカラ、公債ノ消化ハ最モ  
易イコトト思ヒマス、併シ此ノ時價ガ維持  
出來ナイデ、安心シテ持ツテ居ラレナイト  
云フコトニナルト、茲ニ公債ヲ一時ニ賣出  
スト云フコトニナレバ、其ノ公債ノ價ヲド  
ウシテ維持スルカト云フコトガ、非常ナ難  
問題ニナルノデハナイカ、一タビ少シ値ガ  
下リサウダト云ヘバ、經濟界ハ御承知ノ通り  
非常ニ神經過敏デスカラ、之ヲ賣出スト大  
變ナコトガ起ツテ、遂ニハ經濟界ニ恐慌ヲ  
起スト云フヤウナコトマデ考ヘナケレバナ  
ラスト思フノデスガ、斯ウ云フ場合ノ方策  
ヲ考ヘテ居ラレマスカ、勿論御考ニナツテ

府が保證シテ居ルト云フノデ氣強イ點モアルドラウト存ジマス、是ハ一概ニ一年ナリ二年ナリノ間ニ其ノ社債ヲ發行スル譯デモゴザイマセヌシ、又必要ニ應ジテ發行シテ行クノデ、今日ノ狀況及ビ今後ニ於キマシテモ、其ノ爲ニ公債發行ガ妨ゲラレルト云フ性質ノモノデハアルマイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、殊ニ貯蓄獎勵ニ關シテモ、

居ル次第デゴザイマス、是等ノ發行額モ興業銀行ノ債券ニ付キマシテハ、相當ノ發行ハ致シテ居リマスガ、其ノ他權能ハ相當與ヘテ居リマスガ、之ヲ一概ニ此ノ一二年間ニ發行スルト云フヤウナモノデモゴザイマセヌノデ、其ノ點一ツ左様御承知ヲ願ヒタイ思ヒマス

要ラス者カラハ出來ルダケ簡便ニ買上ゲルヤウニ致シテ居ル次第デゴザイマシテ、大體ニ於テ今日ノ市價ニ付テハ心配ナイ積リデゴザイマス

カラデモドウモ是レ以上ハ公債ヲ持テナイト云フヤウナ感ジガ起ツテ來ルヤウナコトガアリマス時ニハ、茲ニ結局日本銀行所持公債ガ多クナツテ來ル、ソコデ其ノ多額ノモノヲ日本銀行ガ買込ム譯ニモ行キマセヌカラ、結局公債消化ニ一大障礙ガ起ルト思フ、サウ云フ場合ニハヤハリ強制シテ之ヲ持タスト云フヤウナ場合モ御考ヘニナツテ居リマスカ、ドウモ何カ別ニ公債消化ニ對シテノ方策ヲ準備シテ置カナケレバナラナイト、斯ウ考ヘルノデスガ、之ニ付テ承ツテ置キタイト思ヒマス

昨年度ニ於キマシテノ目標ハ八十億、約五十億ヲ、公債ニ充テ、其ノ外ノ三十億ヲ社債其ノ他株式ノ拂込等ニ充テ積リデ、目標ハ八十億ト言ツテ居ッタノデゴザイマスガ、結局國民貯蓄ノ總額ガ公債ノ發行額ニ

ソレカラ第二ノ御尋ハ公債ノ價值維持ノ問題デアリマスガ、是ハ極メテ重要ナ問題デアリマスノデ、政府トシテモ公債ノ價值維持ニハ十分努メテ居ルノデゴザイマス、萬ガ一公債ガ下ツタラ困ルデハナイカ、公債暴落ノヤウナ場合ハ一體ドウ考ヘルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ公債ヲ暴落致サセナイ方針デゴザイマシテ、公債ノ市價ヲ下ゲナイ豫定デゴザイマス、ソレハ今日爲サレテ居リマスコトハ、一面ニ於テ郵便局デ公債ヲ賣出シテ居ル、ソレヲ半強制的ニデモ賣出シテ居ルノデ、其ノ公債ガ市中ニ賣ラレテ、十圓デ賣ツタモノガ七圓位デ賣買サレテ居ルト云フヤウナ現象ヲ指摘サレタノデゴザイマスガ、是ハ極ク一部ノ僅ナモノデアルト思フノデアリマス、併シナガラ一面アナタノ言ハレタ通り此ノ公債市價ノ問題ハ極メテ重大ナ問題デゴザイマスカラ、是等ニ付キマシテモ、郵便局ニ於テ

○松尾委員 私ガ先ニ四十億圓ガ特殊ノ政府保證ノ債券ノ如ク申上ゲタノハ私ノ誤デアリマス、勿論其ノ會社ノ株式ニ對スル金額デアリマシテ、其ノ他ハ四朱見當ノ社債ノモノデアアルコトニ訂正シテ置キマス、ソレカラ今大臣モ申サレタヤウデアリマスガ、今日發行セラレタル五十數億ニ互ル公債ノ上ニ、尙ホ四十數億ト云フ特殊會社ノ新シイ資金ノ需要ハ非常ニ大キナ影響ガアルト思フ、其ノ資金ノ需要ハ順次起ツテ來ルト云フヤウニ大臣ハ御考ニナツテ居ラレマスケレドモ、今日生産力擴充ノ爲ニ設立シタ各特殊會社ハ各、國策的ナ重要ナ任務ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、一日モ速ニ其ノ仕事ヲ進メナケレバナラヌノデアリマスカラ、ドウシテモ資金ノ需要ハ一時ニ起ルト思フノデス、サウスルト、五十數億ノ上ニ此ノ四十數億ト云フモノモ、全部デハアリマセヌガ、半數位ノ金ハ見込シテ置カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、各金融業者、即チ銀行、信託會社、或ハ保險會社等ハ飽和狀態ニナツテ來テ、氣持ノ上

○石渡國務大臣 強制シテ公債ヲ持タセルコトヲ對策トシテ考ヘテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、強制的ニ公債ヲ持タセマスコトハ、先般來屢、御答致シマシタ通り考ヘテ居リマセヌ、強制的ニ公債ヲ持タセマシテモ、其ノ額タルヤ極メテ大ナルヲ望ミ得ナイト思フノデゴザイマス、又諸外國ニ於キマシテ全般的ニ強制的ニ公債ヲ持タセルヤウナコトヲヤツテ居ル處ハアリマセヌ、又多少之ヲヤツテ居リマス處デモ、強制的ニ公債ヲ持タセマシテ、其ノ爲ニ消化致シテ居リマスコトハ極メテ少ウゴザイマス、ソレデヤハリ多額ノ公債ヲ消化シテ行クト云フコトハ、是ハ一面ニ於テハ經濟的ノ操

スウ云フヤウナ債券ヲ發行シテ行クト云フコトデ一方ガ妨ゲヲ受ケルト思フノデアリマス、併シナガラ國民ノ貯蓄ガ公債ノ發行額ヲ超エテ、更ニ多額ナ貯蓄ガ出來ルト云フコトデアリマスナラバ、其ノ點別ニ心配スルコトハアルマイト思フノデゴザイマス、現狀ニ於テハ此ノ政府保證ノ社債ト云フモノハ公債視サレルカト云フト、何レカト云ヘバ社債視サレテ居ルノデゴザイマシテ、ソコニ自ラ公債ト社債トノ消化ノ部面モ分レテ居ル譯デアリマス、今日ニ於キマシテ御心配ノ如キコトハ萬々アルマイト考ヘテ

居ル次第デゴザイマス、是等ノ發行額モ興業銀行ノ債券ニ付キマシテハ、相當ノ發行ハ致シテ居リマスガ、其ノ他權能ハ相當與ヘテ居リマスガ、之ヲ一概ニ此ノ一二年間ニ發行スルト云フヤウナモノデモゴザイマセヌノデ、其ノ點一ツ左様御承知ヲ願ヒタイ思ヒマス

要ラス者カラハ出來ルダケ簡便ニ買上ゲルヤウニ致シテ居ル次第デゴザイマシテ、大體ニ於テ今日ノ市價ニ付テハ心配ナイ積リデゴザイマス

カラデモドウモ是レ以上ハ公債ヲ持テナイト云フヤウナ感ジガ起ツテ來ルヤウナコトガアリマス時ニハ、茲ニ結局日本銀行所持公債ガ多クナツテ來ル、ソコデ其ノ多額ノモノヲ日本銀行ガ買込ム譯ニモ行キマセヌカラ、結局公債消化ニ一大障礙ガ起ルト思フ、サウ云フ場合ニハヤハリ強制シテ之ヲ持タスト云フヤウナ場合モ御考ヘニナツテ居リマスカ、ドウモ何カ別ニ公債消化ニ對シテノ方策ヲ準備シテ置カナケレバナラナイト、斯ウ考ヘルノデスガ、之ニ付テ承ツテ置キタイト思ヒマス

作、一面ニ於テハ國民ノ愛國心、此ノ二ツカラシテ行キマセヌケレバ到底多額ノ公債ヲ消化シテ行ク譯ニハ行カスト思フノデゴザイマス、國債ガ消化スルカシナイカト云フコトハ、是ハ一ツハ客觀的ノ經濟事情ニ依ルコトモ當然デゴザイマスガ、又一面ニ於キマシテハ國民各自ガ此ノ際貯蓄ヲスル、國債消化ヲスルト云フ主觀的ナ觀念、國ノ爲ニソレダケノコトヲ自分ハヤルノダ、此ノ主觀的ノ觀念ガ非常ニ勵クト私ハ思フノデアリマシテ、強制的ニ持タセルヨリハ、寧ロ國民ガ進ンデ持ツ、サウ云フ觀念ヲ持タセマシタ方ガ餘程有效デアラウト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、只今松尾サンカラ重ネテ御尋ガゴザイマシタガ、此ノ政府保證ノ社債ト申シマスモノハ、是ハ色々ノモノヲ含ンデ居ルノデゴザイマス、例ヘバ滿洲ノ移民會社、滿拓公社ノ社債ト云フヤウナモノモ含ンデ居リマス、是等ハ相當長年月ニ互ツテ支出致サルベキモノデゴザイマス、又北支開發會社ノ如キモ十億圓以上ノ社債ノ發行力ヲ持ツテ居ルト思フノデゴザイマスガ、是等モ北支ノ開發ニハ一年間ニ支出サルベク豫定サレテ居ルモノデハゴザイマセヌ、是モ相當長年月ヲ要スルモノデアリマスカラ、何レモ合計致セバ四十

億ノ數字ニ相成ルカモ知レマセヌガ、此ノ四十億ト云フモノガ一二年ニ發行致サルベク豫定サレテ居ル譯デハ決シテゴザイマセヌ、此ノ點ハドウゾ左様御諒承願ツテ置キタイト存ジマス

次ニ私ハモウ一點御尙致シタイ、ソレハ日滿支經濟「ブロック」ト云ツテ、日本、滿洲、支那ヲ一ツノ經濟「ブロック」トシテ總テノ經濟開發ヲヤル、ヤルノデスガ、其ノ中、北支ノ如キマダ財政ノ基礎ガ確立シテ居ラナイ、總テノ機關ガ不揃ヒデ備ツテ居ラナイ、甚ダ不安ナ狀態デアリマス方面ノ開發ニハ北支開發會社ノ如キモノガ活動スル、是ハ國內ノ資本ヲ持ツテ行カナケレバナリマセヌ、ソコデ只今十億圓モ社債發行權ヲ與ヘテ、其ノ資本ヲ持ツテ行ク、内地ノ資本ヲ順次持ツテ行クノデ差支ナイト云フ話デアリマスカラ、私ハ其ノ點ハサウ思フノデアリマスガ、滿洲ノ方ハ既ニ財政ガ確立シテ居ルト思フ、總テノ機關ガ確立シテ居ル、其ノ滿洲デヤツテ居ル滿洲重工業會社ノ如キガ資本ヲ内地ニ求メテヤルト云フコトハドウカト思フ、滿洲ハ滿洲デヤツタ方ガ、滿洲ニ於ケル開發ハ滿洲ノ金デヤラセルヤウニシタ方ガ宜イト思フ、今日新聞ヲ見マスト、滿洲重工業會社ガ「シンヂケート」團ニ依ツテ今回ハ四分三厘「パー」ノ社債ヲ發行スルコトガ、興業銀行ノ斡旋デ成立シタ如ク報セラレテ居リマス、此ノ記事ノ最後ニ、尙ホ今年中ニ一億五千萬圓ハヤハリ内地ニ資本ヲ仰グ、斯ウ書イテアル、一體滿

洲重工業會社ニハ、亞米利加ト特ニ指スコトハドウカト思ヒマスガ、外資ヲ入レサスニ便利ナ爲ニ、滿洲ノ大キナ權益ヲ此ノ會社ニ收メシメ、專業開發ニ當ラシメルト云フ方針デアツタヤウニ世間ニ傳ツテ居ル、ソレヲ逆ニ内地ノ金ヲ持ツテ行クト云フコトニナリ、ソレヲ日本興業銀行ガ斡旋シテ居ル、而モ本年一億五千萬圓ト云フコトヲ新聞ガ報ジテ居リマスガ、滿洲デヤル仕事ヲ滿洲ノ資金デヤラシメルヤウニ方策ヲ立テタラ宜シイト私ハ考ヘマスガ、此ノ考ガ誤ツテ居リマスガ、大臣ノ御考ヲ承ツテ置キタイ

○石渡國務大臣 滿洲ニ於キマシテモ漸次資金ノ増殖ト共ニ先方ニ於テ資金ヲ供給シテ居ル點モゴザイマス、何レニ致シマシテハ今日ノ滿洲ダケデ資金ヲ得ルト云フコトハ今日ノ滿洲産業ノ狀況ニ鑑ミマシテ困難デアルト存ジマス、隨テ滿鐵デアルトカ或ハ滿洲重工業デアルトカ、是等國策ニ從ツテ居リマスモノニ付キマシテハ相當ナ金ヲコチラカラ持ツテ行ク必要ガアルト存ジテ居リマス、又御承知ノ通り是等ノ社債ノ利子デアルトカ、滿鐵ノ配當、重工業ノ配當ト云フヤウナモノモ相當多額ニ上ルノデアリマスガ、是等ノ金ハ何レモ滿洲ニ落チズ、

ソレカラ公債發行ト消化ノ狀況デゴザイマスガ、是モ參考ノ爲ニ申上ゲマスガ、公債消化ノ狀況ハ、本年一月以來發行高七億圓、消化サレテ居リマスモノガ八億七千三百萬圓、即チ今年發行致シマシタモノヲソツカリ消化シマシテ、前年ニ發行致シマシタ分ニ一億七千三百萬圓食込ンデ居リマス、詰リ昨年發行シテ七十何「パーセント」トカ申シマシタ其ノ消化ニ本年ガ食込ンデ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ本年ノ一月以來公債ノ消化ハ頗ル旺盛デアリマス、昨年末ニ日本銀行ノ手持十六億三千四百萬圓ト云フコトデ、大變御心配ヲ煩ハシテ居ツタノデゴザイマスガ、今日ノ現狀ニ於キマシテハ十四億六千五百萬圓、昨年ノ十二月以來此ノ三四箇月ノ間ニ二億圓程減ツテ居リマス、サウ云フヤウナ狀況デアリマスコトヲ併セテ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○松尾委員 只今大臣ノ御説明ニ依ツテ公債ノ消化ノ順調ナコトニ付キマシテハ洵ニ國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘヌノデアリマス

地ニ資本ヲ仰グ、斯ウ書イテアル、一體滿洲重工業會社ニハ、亞米利加ト特ニ指スコトハドウカト思ヒマスガ、外資ヲ入レサスニ便利ナ爲ニ、滿洲ノ大キナ權益ヲ此ノ會社ニ收メシメ、專業開發ニ當ラシメルト云フ方針デアツタヤウニ世間ニ傳ツテ居ル、ソレヲ逆ニ内地ノ金ヲ持ツテ行クト云フコトニナリ、ソレヲ日本興業銀行ガ斡旋シテ居ル、而モ本年一億五千萬圓ト云フコトヲ新聞ガ報ジテ居リマスガ、滿洲デヤル仕事ヲ滿洲ノ資金デヤラシメルヤウニ方策ヲ立テタラ宜シイト私ハ考ヘマスガ、此ノ考ガ誤ツテ居リマスガ、大臣ノ御考ヲ承ツテ置キタイ

内地ニ落ちルノデアリマス、先方ノ金ハ先方デ賄フコトカラ云ヘバ、是等ノ金ハ實ハ殆ド全部コチラヘ落ちテ來ルト云フノデアリマスカラ、又向フヘ金ヲ持つテ行ツテ新シク資金ヲ注ぎ込ミマセヌケレバ、向フヘ資金ヲヤツタ、儲ケタ、其ノ儲ケノ大キナ部分ハ皆コチラヘ來テシマフ、斯ウ云フコトデハ先方デモ資金ヲ集メルコトガ容易デナイコトハ御承知ノ通りデアルト思ヒマス、ソレデ是等ノ資金ノ勿論全部デハゴザイマセヌガ、一部ハ此方デモ負擔シ、滿洲國デモ負擔スル、是ハ今日ノ經濟上カラ考ヘマシテ、已ムヲ得ナイコトデハナイカト存ズルノデアリマス

其ノ金デ一體ドウ云フコトヲヤルカト云ヘバ、結局其ノ中ノ多クノ部分ハ、此方ノ品物ヲ買ツテ行クコトニナルト思フノデアリマス

ヤラセルヤウニスルコトハ出來マセヌカ

付キマシテハ、内地ニ仰グモノガ相當多額デゴザイマス、松尾サンノ仰シヤイマシタ滿洲重工業ニ一億五千万圓持つテ行クノガ善イカ悪イカト云フコトハ別デゴザイマスケレドモ、滿鐵ニ於テハ此ノ頃一億七八千万圓ノ金ヲ持つテ行ツテ居ルノデアリマス、ソレデ結局滿拓公社デアルトカ、其ノ他サウ云フ産業會社ノ持つテ行ク金ヲ計算致シマスレバ、五億ニモ六億ニモナルカト思ツテ居リマス

○松尾委員 只今ノ大臣ノ御答辯ハ少シ了解シ兼ねマス、滿洲デヤル仕事ハ滿洲ノ方デ賄ツテ行クコトガ宜イノデハナイカト思フガ、ソレハ一體宜イコトデスカ悪イコトデスカ、ヤハリ内地ノ金デヤル方ガ宜イト云フ建前デヤラレルノデスカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○松尾委員 滿洲ニハ紙幣ノ發行權ヲ持つテ居ル滿洲中央銀行ガアル、日本ノ政府ハ公債ノ發行ヲ日本銀行トノ連繫ニ依ツテ今旨クヤツテ居リマスガ、此ノ關係ノ如ク、滿洲デモ滿洲中央銀行トノ提携ニ依ツテ紙幣ヲ撒布シ、其ノ撒布シタ通貨ヲ滿洲公債ト云フヤウナモノデ中央銀行ニ吸收スル手段ヲ以テヤレバ出來ルト思フ、ソレニ依ツテ滿洲ハ滿洲デ片付ケテ行クコトニシナケレバナラヌ、今度北支ニモ大キナ金ガ出ルノデアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナイト思フ、北支ハ今日マダ未開ノ處デアツテ機關ガ揃ツテ居リマセヌカラ、是ダケノ必要ハアルト思フガ、滿洲ハ既ニ今日總テノ機關ガ揃ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ際滿洲ヲ一人前ニシテ行ク——ト云フノハオカシイガ、一人前ニ仕立テルベキダト思フ、今年中ニ一ツノ私設會社ニ對シテ、一億五千万圓ヲ出スト云フノハ可ナリ大キイ、ソレヲ日本興業銀行ガ幹旋シテ持つテ行クト云フコトハ、相當重大ナ經濟界ノ問題ダト思フノデアリマス、斯ウ云フコトハ滿洲ニ於テ

○石渡國務大臣 滿洲國ニ對シテ地方カラ持つテ行キマス金ハ、一年ニ四億、五億、今後ニ於キマシテハ六億、七億ニナルカモ知レマセヌ、兎ニ角滿洲國ノ五箇年計畫ニ於テモ、六十億ノ金デゴザイマスガ、其ノ中三十億ハ自分ノ方デ調達シ、三十億ハ内地ノ援助ヲ仰ギタイ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、滿洲國トシテモ出來ルダケ自分ノ方デ資金ヲ調達スルコトハ考ヘテ居ルヤウデアリマス、併シ之ニハ自ラ限度ガアリマスノデ、其ノ限度ヲ超過致シテヤル譯ニモイカヌト思フノデゴザイマス、其ノ他ハ此方ノ金ヲ向フニ持つテ行クコトニナルト思フノデアリマス、又其ノ資金ヲ先方ニ還元シテ行キマセヌト、日本ト滿洲國トノ貿易關係ニ於テハ、滿洲側カラ見レバ非常ナ輸入超過デゴザイマスノデ、先方ガ之ニ對スル支拂金ノ準備ニモ差支ヘハシナイカト思ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ日本國ト滿洲國トノ間ノ國際收支ノ問題カラ考ヘマシテモ、亦産業資金ノ問題カラ考ヘマシテモ、或ル程度ノ金ハ寧ロ此方カラ持つテ行ク必要ガアル次第デゴザイマス、又臨時軍事費トシテ、滿洲國ニハ此方ノ金ガ落ちマス、併シナガラ物資其ノ他ニ

○松尾委員 私ハ其ノ點ニ付テ御尋ラ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、滿拓公社トカ、滿鐵トカ云フノハ國策會社デアツテ、日本内地ノ資金ヲ持つテ行カナケレバナラヌ場合ガ當然起ル、又今日事變ノ爲ニ、相當内地カラ金ガ向フヘ移動シテ行ツテ居ル、サウ云フ已ムヲ得ザルモノハ止メル方法ガナイ、併シ滿洲重工業會社ノ如キハ一私設會社デス、勿論國策ノ線ニ沿ウタ會社デアツテ、仕事モ國策ノ仕事デアルケレドモ、此ノ會社自體ガ自由ニ活動シテヤレル、斯ウ云フ會社デモヤハリ滿拓トカ滿鐵ト同様ニ、日本興業銀行ノ厄介ニナラネバナラヌコトハナイト思ヒマス、少クトモコンナ會社位ハ向フデ賄ヒヲサスト云フコトデナケレバ、其ノ爲ニ又澤山ノ資金ガ向フヘ移動シテ行

○石渡國務大臣 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

○松尾委員 滿洲ノ方面デ金ヲ作ルコトハ異存ゴザイマセヌ、ソレハ宜シイノデゴザイマス、併シソレダケデ滿洲國ガ滿洲國內デ仕事ヲヤツテ行ケルカト云フト、ヤツテ行ケマセヌカラ、此方デ金ヲ集メテヤリマス、

キマス、向フハ向フデヤラシタ方宜イノ  
デアリマシテ、大臣ハソコヲ混同シテ御話  
ニナツテ居ラレマス、私ハソコヲ離シテ考  
ヘテ戴キタイト思フ、滿拓公社トカ滿鐵會  
社ハ國策會社デ已ムヲ得マセス、其ノ他事  
變ノ爲ニ出征兵士ガ向フニ行ツテ、ソコニ  
相當軍備ニ要スル金ガ移動シテ行キマスノ  
相、斯ウ云フモノハ向フノ一本建デヤラシ  
メル方ガ適切ダト思ヒマス

○石渡國務大臣 滿洲重工業會社ハ極メテ  
重要ナ會社デゴザイマシテ、今日滿洲ノ重  
工業ヲ殆ド一手ニ引受ケテ居ルノデゴザイ  
マス、是ハ滿洲國ガ半分株ヲ持ツテ居ル、  
サウシテ其ノ社債等ニ付テハ滿洲國ガ保證  
シテ居ル、斯ウ云フ立場ニアルノデゴザイ  
マシテ、滿洲重工業ノ社債ニ付キマシテモ、  
滿洲國ノ爲ニ、又日本ノ爲ニ、此ノ重工業  
會社ノ社債ニ對シテ相當骨折リマスコトハ  
私ハ當然デハアルマイカト思ヒマス

○松尾委員 ソレニ付テハ是レ以上私ハ申  
上ゲマセス

次ニ御伺致シタイノハ、總動員法第十一  
條ヲ發動スルコトガ殆ド決ツタト新聞ニ傳  
ハツテ居リマスガ、是ハ閣議デ決ツタト思  
フノデアリマスガ、此ノ場合はガ發動ニナ  
ルト云フコトニナツタノデアリマスカ、其

ノ點ニ付キマシテ或ル程度御伺スルコトガ  
出來レバ承リタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 總動員法第十一條ノ發動  
ハ、昨年ノ暮、既ニ審議會ノ議ヲ經マシテ、  
發動スルト云フコトニナツタノデアリマス、  
是等ノ勅令案ヲ起シマシテ、法制局ニ既ニ  
回付シテアリマス、是ハ寧ロ今日遅レテ居  
ルヤウナ狀況デアリマシテ、遠カラズ發動  
ニ相成ルト思ツテ居リマス、之ニ付キマシ  
テハ別ニ閣議デ今日決定致シタモノハゴザ  
イマセス、併シナガラ從來前内閣以來之ヲ  
發動スルト云フ方針デ總テノコトガ進ンデ  
居ルノデアリマスカラ、間モナク發動サレ  
ルコトト思ツテ居リマス

○松尾委員 宜シウゴザイマス  
○岡崎委員長 松尾君ノ大藏大臣ニ對スル  
質問ハ濟ミマシタガ、政友會ノ方デドナタ  
カ御質問ガアリマスカ

○世耕委員 後廻シニ願ヒマス  
○清委員 大藏大臣ニ此ノ機會ニ一寸承ツ  
テ置キタイノデアリマス、ソレハ稅ノ徵收  
方法ニ付テデアリマスガ、農山村ニ入りマ  
スト、一年ニ三圓カ四圓ノ稅金デモ隨分何  
カ物ヲ只取ラレルヤウニ、非常ニ苦痛ニ思  
ヒマス、所ガ煙草等ヲ通ジテ國家ニ納メル  
稅金ニ付キマシテハ、僅ニ一年ニ三圓ヤ四

圓ノ稅金ニブウノ言フ人達ガ平氣デ卷煙  
草ヲ喫ツテ居リマス、サウ云フ爲ニ山村ノ  
全部ノ稅金ヨリモ煙草ノ賣上ノ方ガ遙ニ多  
イト云フヤウナ村モアルノデアリマス、サ  
ウ云フ點カラ私ハドウモ直接稅ト云フヤウ  
ナモノハ餘程國民ガ出シニクイノデハナイ  
カ、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ煙草或ハ酒ノ  
方カラ考ヘテ、間接稅ヲ何トカモウ少シ取ル  
工夫ヲシタ方ガ、國民ガ物ヲ唯取ラレルノダ  
ト云フヤウナ考デナシニ、知ラズ識ラズノ  
内ニ國家ニ御奉公ガ出來ルノダト云フヤウ  
ナコトヲ、常ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、然ルニ間接稅ト云フモノハ比較的殖エ  
テ來ナイデ、直接稅ノ方ガ比較的ニ多ク殖  
エテ來ル傾向ガアリマスガ、ドウ云フ譯デ  
間接稅ヲ取ルコトヲ餘リオヤリニナラナイ  
ノカ、之ニ對スル大藏大臣ノ御考ヲ此ノ機  
會ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 間接稅ノ方ガ納稅者ノ神  
經ヲ刺戟シナイデ圓滑ニ納入サレルカラ、  
又收入モ相當大キイ、斯ウ云フコトデ政府  
當局ニ於キマシテモ大分誘引ヲ感ズルノデ  
アリマス、其ノ點ハ仰シヤル通りデアラウ  
ト存ジマス、唯併シナガラ納メ方、納マリ  
方ガ滑カニ行クカラト云ツテ、間接稅ニ多  
ク據ルト云フコトハ、是ハ又一方カラ考ヘ

マス、相當考ヘサセラレル點ガアリマス、  
ト云フコトハ例ヘバ茲ニ十萬圓ノ收入ノア  
ル人ガアリマシテモ、其ノ人ガ煙草モ喫ハ  
ナイ、酒モ飲マナイト致シマス、一方千圓  
ノ收入シカナイ人ガ酒モ飲ミ、煙草モ喫フ、  
斯ウ云フコトデアリマス、千圓ノ收入ノ  
人ノ方ガ負擔ガ十萬圓ノ收入ノアル人ノ負  
擔ヨリモ却テ餘計ニ相成ツテ來ル、其ノ十萬  
圓ノ收入ノアル人ニ酒モ煙草モ強制的ニ飲  
マセルト云フ途ハアリマセス、是ガアリマ  
スト、消費稅モ餘程面白イノデアリマス、  
人ノ所得ノ高ニ依ツテ負擔ガ上下シナイト  
云フ點ガ實ハ消費稅ノ非常ナ缺點デアルト  
存ジマス、ソレデアリマスノデ、多少徵收  
ニハ不便デアリ、又納稅者ニハ不便デアリ、  
苦痛デアツテモ、直接稅ヲ取ラザルヲ得ナイ  
イ、之ヲ主トシテ考ヘザルヲ得ナイ、斯ウ  
思フノデアリマス、併シナガラ消費稅ノ増  
徴ニ付キマシテモ、是ハ決シテ考ヘナイ譯  
デハアリマセス、ソレハ一面ニ於キマシテ  
ハ、側面的ニ煙草ヤ酒ヲ相當多額ニ飲ムト  
云フコトハ、大體ニ於テ相當所得ニ餘剩ガ  
アル、斯ウ云フ一應ノ考ヘ方カラシマシテ、  
側面的ニ課稅スル、斯ウ云フコトハ私ハ必  
要デアルト存ジマス、デアリマスカラ、ドウ  
致シマシテモ今後ノ稅ノ主體ト致シマシテ

ハ、直接税ノ中デモ殊ニ所得税、是ガ主餘デアツテ、間接税ト云フモノハ寧ロ遊撃隊、斯ウ云フ方面ニ屬スルノデハアルマイカト考ヘテ居リマス

○清委員 是モ一ツ御耳ニ入レデ置キタ

イノデアリマスガ、先般私ノ家ニ非常ニ眞面目ナ人ガ來マシテ、滿洲ニ一ツ移民シヨウト思フガドウダラウ、「ブラジル」ハドウダラウト云フヤウナコトヲ言フ、ソコデ私ハ君ハ何ヲ考ヘテ居ルノカ、好イ年ヲシテ是カラ「ブラジル」ヘ行クノ滿洲ヘ行クノト云フヤウナコトヲ何故言フノダ、君ノ家ハドン榮エテ居ルデハナイカト云フ話ヲシタ所ガ、實ハ税金ガ逆モエライト言フ、ソレカラ私ハ、僕モ世界中ヲ巡ツテ見タガ、日本ハ税金ガ一番安イ國ダ、ドウモ今マデノ政治ノヤリ方ハ税金ヲ取ラナイノガ善イ政治ダト思ツテ居ツタノハ間違ヒデアツテ、税金ヲ澤山取ツテ、ドン／＼施設ヲスルト云フノガ善イ政治ダト云フ時代ニナツテ來タト云フコトヲ諄ト話シテヤツタ、スルト默ツテ聽イテ居ツタガ、結局終リニ併シ逆モヤリ切レマセスト言フ、ドウ云フ風ニヤリ切レナイノカ、君ハドレダケ取ラレル、一年ニ六百圓位取ラレル、ドウシテ君ハソシナ飽棒ナ税金ヲ出スノダト言ツタ、私ノ

目デ見マスト一年ニ先ヅ最高三千圓位ノ收入シカナイダラウト思フ店デアリマスガ、ソレガ六百圓ト云フ税金ヲ取ラレル、ドウシテソシナ詰ラヌ税金ヲ出スカト云フト、稅務署員ニ帳面ヲ見テ吳レト言ウテモ、イヤ帳面ヲ見ナクテモ宜イ、鹽梅ヨクヤツテ置クカラト言ツテ行ツテシマフ、サウシテ向フデドン／＼確定シテシマフト言フ、實ハ私共デモ稅務署ノ者ガ來ルト餘リ好イ感ジハシナイ、デスカラアア云フ小サイ商人ナンカハ稅務署ノ人ガ行クト、モウ慄ヘテシマツテ、言ヒタイコトモヨウ言ヘナイ、十分ノ説明モヨウ出來ナイト云フコトニ因ル缺陷ダラウト思フノデアリマス、市中ニハ隨分サウ云フ例ガ相當ニ澤山アルヤウデアリマスガ、何トカ大藏省ノ方ニ於テ、サウ云フヤウナ間違ヒノナイヤウニ、斯ウ云フ立場ニ在ル人間ハ其ノヤウニ斟酌シテ、親切ナ徵稅方法ヲ執ツテヤルヤウニ、十分御配慮願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ非常ニ眞面目ナ人ガ私ノ家ニ來テ、日本ヲ去リタイト云フコトヲ言ツタノデ、私ハ驚イタノデアリマス、何分一ツ宜シク御配慮願ヒタイノデアリマス

○石渡國務大臣 普通ノ場合ニ於キマシテハ營業者ノ勢ト云フモノハ強ウゴザイマシ

テ、稅務官吏ノ査定ガ實所得マデ行キマスノハ中々骨ガ折レルノデゴザイマシテ、普通ノ場合ニ於キマシテハ、稅務署ノ營業上ノ所得ノ課稅ト云フモノハ、私ハ今日ニ於キマシテモ、サウキツイモノデアアルマイト存ジテ居リマスガ、此ノ事變ガ始マリマシテ以來、是ハ我が國民ノ特性トシマシテ、戰爭中ニ税金ノコトヲ愚圖々々言フノハ見ツトモナイト云フ感ジガアルモノデアリマスカラ、進ンデ稅務署ノ査定ニ應ジル、又少シ位苦シクテモ、自分ノ實所得ヲ超過シテモ其ノ税金ヲ納メル、斯ウ云フヤウナ傾向ノアリマスコトハ、是ハ事實デゴザイマス、ソレデ昨年來稅務署ニモ餘程注意スルヤウニ、普段ノヤウナ心掛デ以テ此ノ際營業ノ所得ノ見積ラシテハイカヌ、國民ガソレダケノ決心ヲシテ居ルノデアルカラ、隨テ餘程圓滑ニ、決シテ無理ノ行カナイヤウニシナケレバイカヌト言ツテ置イタノデゴザイマスケレドモ、今マタサウ云フ御話ヲ承リマシテ、日本ヲ去リタイト云フ心持マデ持タセルト云フコトニ付テハ私モ心外ニ存ジマスノデ、今年既ニ主稅局ノ方デサウ云フ注意ヲ稅務署ニ致シマシタカドウカ存ジマセヌガ、若シ致シテ居リマセヌケレバ是カラ再ビ今年ノ營業收益稅ノ査定ニ付テ

十分注意ヲサセルコトニ致サセマス

○岡崎委員長 ソレデハ政友會ノ方ハ見エマセヌカラ、田万君

○田万委員 私大藏大臣ニ御伺シタイノハ

一點ダケデス、極ク簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、現在並ニ將來ノ趨勢ヲ考ヘテ見マシテ、日本銀行、朝鮮銀行、臺灣銀行ト云フモノヲ一元化シテ、中央銀行ヲ將來設立スル御考ガアルカドウカト云フ點デアリマス、既ニ事變ガ起リマシテ三年ヲ經過致シマシテ、其ノ間日本ノ經濟界全般ニ互リマシテ非常ナ變化ヲ致シテ居リマス、殊ニ此ノ變化ニ伴ツテ政府ノ政策ガ非常ニ計畫ヲ帶ビ、統制ヲ増シテ來タコトハ事實デアリマス、所ガ總動員法ノ發動モ亦次第ニ全面的ニナツテ來マス、是等ノ諸般ノコトヲ考ヘテ見マスル場合、ドウモ今ノ行政機構ノ儘デハサウ云フモノニ對應スルニハ極メテ不都合デアルト云フ點ハ御經驗ナサツテ居ルト思フノデアリマス、其ノ例ハ申上ゲルマデモナイコトト思ヒマスガ、色々大藏省ト商工省ノ間デ御意見ガ違フ爲ニ、國民ニ於テモ迷惑ヲ感ジテ居ル點モ多々アルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、獨リ行政機構ノミナラズ、金融機構ニ於キマシテモ既ニ日滿支ヲ打ツテ一丸ト

十分注意ヲサセルコトニ致サセマス

爲スト云フヤウナコトガ唱ヘラレテ居ル今日ニ於テ、從來ノ儘日本ニ於キマシテ一方ニハ日本銀行アリ、一方ニ朝鮮銀行アリ、一方ニハ臺灣銀行アリト云フヤウナコトデハ、此ノ日滿支ヲ打ツテ一丸ト爲スト云フ極メテ國策的ナ計畫經濟ヲ立テル上ニ於テ、不都合ガ起ツテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、所ガ又一方ノ論者カラ言ヒマスト、朝鮮ニハ朝鮮ノ事情ガアルトカ、臺灣ニハ臺灣ノ事情ガアルトカ云フヤウナコトヲ以テシマシテ、現状維持的ナ考ヲ持ツ場合モアルト思フノデスガ、併シナガラ、今日朝鮮ノ統治、臺灣ノ統治ヲ考ヘテ見マシテモ、相當長イ年月ヲ經テ居ルノデアリマスカラ、何時マデモ臺灣ノ特殊性ヲ主張シ、或ハ朝鮮ノ特殊性ヲ主張スルト云フコトニナレバ、内地ト臺灣、朝鮮トノ融合一致ト云フコトハ不可能デアアル、サウ云フ考ヘ方ソレ自身ガ朝鮮ノ朝鮮、臺灣ノ臺灣ト云フ考ヲ何時マデモ持タシテ行ク結果ニ陥ルト思フノデアリマス、殊ニ其ノ地方ニ於ケル産業經濟ノ中樞ヲ成ス金融機關ニサウ云フ特殊性ヲ持タスト云フコトデアレバ、一層其ノ觀念ヲ深メテ行ツテ、將來憂慮スベキ事態ガ起ルノデハナイカト思フ、ソレ等ノ色々ナ點ヲ考ヘテ見マスト、今直グ

ニト云フ譯デハナイノデアリマスガ、ソレゾレ準備モ要ルコトダラウト考ヘマスノデ、近い將來ニ臺灣銀行、朝鮮銀行、日本銀行ヲ打ツテ一丸トシタ日本ノ中央銀行ヲ作り上ゲテ、統制計畫經濟ニ對應スル金融ノ土臺ヲ築キ上ゲルト云フ御考ガアリハセヌカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、重ネテ申上ゲテ置キマスガ、今直チニサウ云フコトヲ即行スル考ガアルカト御尋スルノデハナイノデアリマシテ、近キ將來ニサウ云フコトヲヤル御意思ヲ持ツテ居ラレルカドウカト云フコトヲ御尋シテ居ル譯デアリマス

○石渡國務大臣 朝鮮銀行、臺灣銀行、日本銀行ヲ一纏メニシテ見タラドウダト云フ話ハ、是ハ比較的古イ話デアリマシテ、前カラサウ云フヤウナコトヲ考ヘラレタコトモアルノデゴザイマスガ、今日デモ今色々御述ベニナリマシタ點等ニ實ハ考慮スル點ガアルト思ヒマス、將來ノ問題トシテ研究スル價值ノアル問題ダト考ヘテ居リマスガ、今日ニ於テ其ノ三者ヲ合併シテ一纏メニスル意思ガアルカト云フ御尋デアリマスレバ今日ニ於テサウ云フ意思ハ持ツテ居リマセヌ、研究スル意思ガアルカト云フ御尋デアリマスレバ、研究スル意思ハ持ツテ居リマ

ス

○田万委員 ソレデ私ハ特ニ將來ニ對シテト云フコトヲ申シテ置イタノデアリマス、更ニ同ジコトヲ問フ譯デアリマスガ、日滿支計畫經濟ヲ圓滿ニ遂行シテ行ク上カラ、日本ノ金融ノ状態ガ現在ノ建前デハ非常ニ不都合デアラウト思フ、ドウシテモ朝鮮銀行、臺灣銀行、日本銀行ヲ打ツテ一丸ト爲シテ、將來金融機構ノ土臺ヲ一元化シテ行カナケレバ非常ニ不都合ヲ感ズルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ必ズ不都合ガ起ルト思ヒマスカラ、ソコハ十分研究シテ戴キタイト思ヒマス、其ノ點ニ於テ現在デモ不都合ガ多少アルト私ハ思ヒマスガ、不都合ノコトハ一ツモナイト云フ御考デアリマセウカ、若シ不都合ガアリトスレバ、今仰セニナツタヤウニ研究シテ行カナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、隨テ中央銀行設立ノ方ニ御考ヲ向ケテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、現在今直チニドウスルト云フ問題デナシニ、近キ將來ニ日滿支經濟ノ遂行上支障アリトスレバ、其ノ支障ヲ除去スル爲ニ努力シテ行ク、研究シテ行ク、中央銀行設立ト云フコトニ向イテ行クト云フヤウナ具體的ソ考ヲ將來ニ向ツテ御持チニナツテ居ルカドウカ

ト云フコトヲ、更ニ重ネテ御尋致シタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 日滿支經濟建設ノ爲ニ朝鮮銀行、臺灣銀行ヲ其ノ儘ニシテ置クコトニ非常ニ不都合ヲ感ジハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、格別是ト云ツテ不都合モ不便モ感ジテ居リマセヌ、是ハ大藏省トシマシテハ臺灣銀行モ朝鮮銀行モ臺灣ニ任せシ、朝鮮ニ任せシ放シト云フ譯デゴザイマセヌ、臺灣ノ臺灣銀行、朝鮮ノ朝鮮銀行ト云フ所ヲ御心配ニナツテ居ルヤクデゴザイマスルガ、朝鮮銀行モ臺灣銀行モ、ソレハ朝鮮總督府ノ意見モ聽キ、臺灣總督府ノ意見ヲ聽クコトハゴザイマスガ、大體ニ於テ是ハ一國ノ金融機關トシマシテ大藏省ニ於テ總テ監督シ、其ノ責任ヲ負ツテ居ル譯デアリマシテ、此ノ金融機關ト統制ト云フコトニ付キマシテハ別段今日ノ所何等支障ゴザイマセヌ、唯形式的ニ之ヲ一ツニシタラ宜イカドウカ、形式的ニ一ツニシタ場合ニ一體ドウ云フ利害ガアルカト云フコトニ付テハ、是ハ檢討シテ見ル必要ガ勿論ゴザイマセウ、ケレドモ今日ノ所實際問題トシマシテ一體何處ニ不便ガアルカト云フコトデアリマスナラバ、別段不便モ不都合モ感ジテ居ラヌノデゴザイマス、將來日滿支ノ經

濟ノコトヲ考ヘテ行キマス場合ニ於キマシ

テモ、滿洲ニハ滿洲中央銀行アリ、北支ニハ北支ノ準備銀行ガゴザイマス、是等方其ノ方面ニ於テ中央銀行ノ役ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、是等モ一緒ニシテシマハナケレバ日滿支ノ經濟ノ發達ガ出來ナイカト云フト、サウ云フ譯デモゴザイマセズ、是等モヤハリ滿洲ハ滿洲ノ中央銀行ヲ持チ、北支ハ北支デ中央銀行ヲ持ツ、中央銀行ト云フモノガ御互ニ相聯繫シテ行ク、斯ウ云フ風ニ一致協力シテ行クト云フ所ニ旨味ガアルノデハアルマイカト思ツテ居ルノデゴザイマス、先程行政機構ノ御話モゴザイマシタガ、ソレナラ總テ行政機構ヲ一ツニシテシマフト云フ譯ニモ行カナイノデ、ソレハ人ニ依ツテ意見ガアリマスカラ、各省ガ意見ヲ圖ハセルコトニ依ツテ、私ハ物事ニ進歩モアリ、伸張モアルト思フノデアリマス、ソレデ意見ヲ圖ハセ、サウシテ意見ノ一致シタモノヲ實行シテ行ク、一人ガ斯ウ云フコトヲ言ツタカラト云ツテ、直チニ總テ其ノ通りニヤツテ行クト云フコトデハ、是ハ其ノ方面カラ來ル所ノ害モ亦アルト思フノデゴザイマシテ、決シテ今日御心配ノヤウナ大藏省ト商工省トガ喧嘩シテ居ルト云フコトハ毛頭ゴザイマセヌ、仲好クヤツ

テ居ル次第デゴザイマス

○田万委員 別ニ喧嘩ヲシテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ譯デゴザイマセヌ、從來ノ大藏省ト今日ハ非常ニ變質シテ居ルコトハ御認ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、從來大藏省ト云フモノハ申上ゲルマデモナク、歳入關係ニ付テ、支出ノ關係ト能ク睨ミ合セテ御考ニナレバ、ソレダケデ殆下用ガ足リタト言ツテ然ルベシト思フノデアリマス、今日デハサウデナシニ、ヤハリ豫算ヲ御決メニナル場合ニハ、物ト睨ミ合セナケレバナラヌ状態ニナツテ、今日ハ非常ニ變ツタト思フノデアリマス、サウ云フヤウナコトカラ大藏省内部ニ於テ物ト睨ミ合ハスト云フ機構ガ極メテ不十分デアル、サウ云フコトカラ商工省或ハ企畫院ト云フヤウナ方面トノ間ニ色々意見ガ圖ハサレ——是ハ仲好クナル前ノ圖ヒト言ヘバソレマデデアリマスガ、併シナガラ色々ソコニハ吾々ノ耳ニ相剋摩擦ガアルカニ聞クノデアリマス、其ノコトヲ申上ゲテ居ルノデアツテ、決シテ唯ミ合ツテ喧嘩シテ居ルト云フ意味ノコトヲ言ツタノデハアリマセヌ、今マデノ大藏省トハ非常ニ變質シテ來タ、其ノ變質シタ部分ニ付テ多少ソコニ意見ノ違ヒガアツタリスルカラ、サウ云フ部分ニ付テ寧ロ行政

機構ヲ結合シテ、變化ニ伴フ合理的ノ建前ヲ取ツテ行クノガ當然デヤナイカト思ツテ居ルノデアリマス、ドンナ行政機構モ一ツニシテシマフト云フ暴論ヲ吐イテ居ルノデハアリマセヌ、其ノ點誤解ノナイヤウニシテ戴キタイト思ヒマス

○岡崎委員長 大藏大臣ガ折角御出席デアリマスガ、他ニ御質問ノ方ハアリマセヌカスガ、實ハ私ノ縣ニ於キマシテ、産業組合ト小商工業者トノ軋轢ガ非常ニ多イノデアリマス、今日ノ産業組合ノ情勢ヲ見マスト、是ハ農林省ガ直接指導サレルノデヤナイカト思ヒマスガ、地方府縣ノ其ノ道ノ官吏ガ非常ナ指導ヲ致シマシテ、動トモスレバ産業組合ノ本質ヲ忘レテ一般ニ商品ヲ賣出ス、殊ニ農産物等ハ組合員以外ニモ盛ニ賣ル傾向ガ出來テ來ルノデアリマス、或ハ郡部ノ町村ノ米ヲ或ハ岡崎ニ持ツテ行クトカ、或ハ豊橋ヘ持ツテ行ツテ賣ルト云フ所マデ來テ居ルノデアリマス、是ガ擴大強化シマスレバ、結局商人ノ勢力ガ縮ミ、産業組合ノ勢力ガ非常ニ旺盛ニナル、其ノ結果ハ結局納稅者ガ減ツテ來ル、國家トシテハ稅收入ガ減ジテ來ルト云フ結果ニモナル、是等ヲ捨テテ置キマスト、商權擁護ト産業

組合ノ軋轢ガ益、擴大致スト云フ實情ニアル、之ニ對シマシテ大藏省トシテハ、多少稅關係モ其ノ間ニアルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテドンナ御考ヲ御持チニナルカ、一應御同致シタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 産業組合ノ問題ニ付キマシテハ、先般增稅委員會ニ於キマシテモ、色々論議ガアツタノデアリマスガ、産業組合本來ノ使命カラ逸脫スルト云フコトニ付テハ、是ハ農林省トシテノ問題デゴザイマスノデ、農林省ニ於テ御考ノアルコトト存ズルノデアリマス、大藏省トシマシテ、稅ノ問題ニ關聯致シマシテハ、是ハ十分考ヘテ見タイト存ジマス、存ジマスガ、是ハ中々サウ簡單ニ參ラナイ問題デアリマシテ、一昨年モ極クチョツピリ産業組合ニ有價證券移轉稅ヲ課稅スルト云フ法案ヲ當衆議院ニ提出致シマシタ所、非常ナ反對ヲ受ケマシテ、殆下滿場一致ヲ以テ修正ヲ受ケテ、課稅シテハイカスト云フコトニ相成ツテシマツタノデゴザイマス、是ハ其ノ當時ハマダ戰爭ガ始ツテ居ナイ時分デ、今日ハ是ダケノ戰爭ヲヤツテ居ルノダカラ、今度持ツテ來タラ恐ラクコツチハ承知スルカモ知レヌ、斯ウ云フ話ヲサレマシタケレドモ、是ハサウ云フヤウナ經緯カラ考ヘマシテモ、

サウ容易ナ問題デゴザイマセヌ、折角御説ニ依ツテ持ツテ來テモ、亦議會デ總反對デ潰サレルト云フコトデハ是ハ何トモ仕様ガゴザイマセヌ、ソレデ此ノ點ニ付キマシテハ、私共トシマシテモ十分考慮シテ見タイト思ヒマス

○大野委員 産業組合ガ本來ノ使命ヲ逸脱シテ組合員以外ニ販賣シテ居ル事實ハ各方面ニアルノデアリマス、是ハ一體地方ノ稅務署トシテハドシナ監督ヲサレテ居リマスカ

○石渡國務大臣 産業組合ニハ所得稅、營業收益稅ヲ課稅シナイト云フコトニ相成ツテ居ルモノデゴザイマス、ソレデ他ノモノニ賣ツテ居ツテ、ソコニ儲ケガアルト云フコトデアルナラバ、是ハ所得稅、營業收益稅ノ問題デアルト思フノデアリマス、是ハ所得稅、營業收益稅ノ連脱ト云フ譯ニ行キマセヌノデ、ソレヲ稅務署ニ於テ監督スルナラバ、産業組合法ノ目的ヲ逸脱シテ販賣シタモノニハ課稅スルト云フ一箇條ガゴザイマスレバ、是ハ稅務署ノ方ノ權限ニ入ツテ來ルト思フノデアリマスガ、サウ云フ條文モアリマセヌノデ、サウ云フコトヲシタ場合ノ監督ハ農林省ノ監督デゴザイマシテ、是ハ大藏省ノ監督ノ範圍デハナイト存ジマ

ス  
○岡崎委員長 モウ大藏大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ——ソレデハ是デ休憩致シマシテ正一時カラ開會致シマス  
午後零時十分休憩  
午後一時三十分開議

○岡崎委員長 ソレデハ只今カラ委員會ヲ開會致シマス——松尾四郎君  
○松尾委員 此ノ兌換券制度ノ限度擴張ニ關シマシテ、滿洲ノ兌換券制度ニ付テ其ノ現狀ヲ伺ヒタイト思ヒマス、滿洲國ハヤハリ中央銀行ヲシテ兌換券ヲ發行セシメテ居ルノデスガ、是ハ最近増發スル必要ノ狀態ニ立至ツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一寸伺ヒタイノデス

○竹内政府委員 只今資料ヲ持ツテ居リマセヌノデ、的確ナコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體ノコトヲ御答申上ゲタイト思ヒマス、滿洲國ニ於キマシテモ御承知ノ通り滿洲中央銀行創設以來、大體ニ於テ極メテ堅實ニ中央銀行トシテノ職責ヲ果シテ居ルト思フノデアリマス、此ノ準備トシテハ御承知ノ通り外國爲替ト云フモノハ一ツノ準備——換言スレバ日本銀行券ト申シマスカ、是ガ正貨準備トシテ發行シ得ル建前ニナツテ居リマス、其ノ他ニ勿論正貨準備ハ

アル譯デアリマス、最近滿洲ノ經濟ノ發展ニ伴ヒマシテ中央銀行ノ兌換券ノ發行モ非常ニ殖エテ參リマシタ、昨年末ナドハ殆ド四億ト云フ數字ニ達シテ居ルヤウデアリマス、他面之ニ伴ヒマシテ全滿ノ金融機關ノ預金ノ増加モ非常ニ著シイノデアリマシテ、其ノ他全般的ノ經濟財政發展ノ狀況ト照應シテ、此ノ兌換券モ膨脹シテ來ルモノト考ヘテ居リマス、殊ニ年末一月二月アタリハ御承知ノ通り特產物ノ出廻期ニナリマスカラ、此ノ貸付ノ關係カラ年々季節的ニ兌換券ガ膨脹スルヤウナ情勢ニアリマス

○松尾委員 滿洲ノ中央銀行ノ紙幣發行ハ内地ノ紙幣ヲ保證ニシテ發行スルコトニナツテ居ルコトハ、朝鮮銀行、臺灣銀行等ト同ジ狀態デアルノデスカ

○竹内政府委員 原則トシテ日本モ同ジデスガ、金或ハ銀ト云フモノガ正貨準備ニナツテ、此ノ外ニ保證發行トシテ外國爲替、換言スレバ日本ノ爲替、即チ日本銀行券、之ヲ準備トシテ發行シ得ルコトニナツテ居リマス

○松尾委員 其ノ日本銀行券ヲ保證トシテ發行シテ居ルノハドレ位デアルカ、ソレカラ原則トシテ正貨準備ニ依ツテ發行シテ居ルノハドレ位デアルカ、其ノ區別ガ分リマ

セヌカ、今數字ガ分レバ伺ヒタイ  
○竹内政府委員 現在ノ正貨準備ノ狀況ハ發表セラレヌコトニナツテ居リマスノデ、其ノ點御諒承ヲ願ヒマス、尙ホ何レ別途ニ資料ヲ整ヘマシテ御説明ヲ許シテ戴ケレバ御説明致シタイト思ヒマス

○松尾委員 今回ヤハリ朝鮮銀行及ビ臺灣銀行ノ發行限度ノ擴張モ此ノ案ニ出テ居リマスガ、此ノ場合ニ於キマシテハ全然日本銀行ノ紙幣ガ保證ニナツテ居ルノデスカ、或ハ斯ウ云フノハ法律デ出來タ時ニ別ニ發行スルト云フノデアリマスカ

○入間野政府委員 朝鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ノ仕拂準備ト致シマシテハ、金、銀、地金及ビ日本銀行ノ兌換銀行券ヲ以テ之ニ充當致スコトニナツテ居リマス、其ノ他ニ保證發行ガ認メラレテ居ル譯デアリマシテ、今回ハ其ノ仕拂準備外ノ發行即チ保證發行ノ限度ヲ擴張致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、尙ホ數字ニ付テ御話申シマスルト、朝鮮銀行券ニ付テハ昨年中ニ於ケル仕拂準備ノ平均高ガ、一億六千四百四十五萬餘圓、之ニ對スル昨年中ノ平均發行高ハ二億六千四百四十八萬九千圓デアリマス、其ノ準備割合ガ六二%ヲ超エテ居リマス、尙ホ又臺灣銀行券ニ付キマシテハ昨年中ニ於ケル仕

拂準備ノ平均高ガ六千三十二万七千餘圓デアリマシテ、之ニ對スル昨年中ノ平均發行高ガ一億一千八十五万二千餘圓デアリマス、其ノ準備割合ガ五四%ヲ超エテ居リマス、斯ノ如ク發行高ニ對シマシテ相當額ノ仕拂準備ハ持ツテ居リマスガ、ヤハリ日本銀行券ト同様保證發行高モアルノデアリマシテ、此ノ仕拂準備發行以外ノ發行ガ即チ保證發行高、斯ウ相成ル譯デゴザイマス

○松尾委員 ソレカラ次ニモウ一點此ノ點デ御伺シタイノハ、今回ノ占領地區即チ南支ノ廣東或ハ海南島方面デハ、臺灣銀行券ヲ以テ當分ノ間通貨トシテ行カレルヤウニ伺ヒマスガ、ソレハドウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスルカ、又別ニ南支ダケ何カ獨立シテ通貨ヲ御出シニナルノデスカ

○入間野政府委員 南支方面ニ於ケル通貨ト致シマシテハ、只今ノ所軍票ヲ主ト致シテ考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ外ニ少額ノ臺灣銀行券ガ出テ居ルヤウデアリマスケレドモ、其ノ額ハ只今ノ所不明デゴザイマス、尙又南支占領地區ニ於キマシテ新通貨ヲ出スト云フコトニ付キマシテハ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ

外ノ通貨ト云フコトヲ考ヘテ居ラレナイト云フコトデゴザイマスガ、此ノ地方ニ旅行スル者ハ、ヤハリ一旦軍票ト通貨トヲ何處カデ取換ヘテ行クノデスカ、今後日本ガ地方ニ於キマシテ色々ナ仕事ヲ開發致シマス時ノ資本ト云フモノハ、ドウシテアチラニ運シテ行クノデアリマスカ、又ドシナ紙幣ヲ以テヤラレル御考デアリマスカ伺ツテ置キタイ

○入間野政府委員 御承知ノ通り南支占領地區ハ、マダ治安ガサウ安定致シテモ居リマセヌシ、且又其ノ地域モ非常ニ狭小デアリマスルノデ、本格的ナ經濟的ノ工作ヲ始メルニハ其ノ時期デナイト存ジテ居リマス、隨ヒマシテ先程申上ゲマシタヤウニ、南支ノ方ハ從來カラモ極ク少量ノ臺灣銀行券ガ其ヲ賄ツテ居ル状態デアリマス、隨ヒマシテアノ地方ニ旅行者ノ行キマスルコトモ、只今ノ所極メテ少カラウト思ヒマス、若シ其ノ必要ガアリマスルナラバ、或ハ廣東票ニ換ヘルナリ、又軍票ニ換ヘル方法モ講ゼラルル譯デアリマスルカラ、サウ云フ風ナ通貨ニ換ヘマシテ支辨スル、斯ウ云フコトニ相成ラウカト存ジテ居リマス

○松尾委員 此ノ今後ノ占領地區ニ對スル

通貨ノ關係ハ、是ハ餘程重大デアラウト思フノデス、現ニ中支北支ヘ最初無統制ニ持込シダ内地ノ紙幣ガ今禍ヲシテ、上海ニ於ケル彼ノ法幣トノ間ニア、云フ大キナ開キガ出來テ、ソレガ貿易ニ非常ナ損失ヲ來シテ居ルト云フヤウナコトガ起ルノデアリマシテ、ドウモ斯ウ云フコトハ、大藏當局デハ占領ト云フコトガアレバ直チニ其ノ場合ヲ御考慮ニナツテ行ク必要ガアルノデハナイカト私ハ思フ、今ニマダ其ノ御方針ガ御決リニナラヌト云フノハ、少シドウモ私ハ大藏省ノ當局ノ方ニ、斯ウ云フコトヲ御忠告ヲ申上ゲルト云フコトハドウカト思ヒマスガ、早く決メテ置カレナイト、之ヲ無統制ニ持込シダ爲ニ、今日ハ上海ノア、云フ状態ガ起ツテ、日本内地紙幣ヲ引上ゲルノニ大變ナ困難ガ起ツテ居ルヤウニ思フ、其ノ僅カノ紙幣ノ爲ニ非常ナ禍ヲ貽シテ居ルノデアリマスガ、早く是ハ御決メニナル御考ハナイノデスカ伺ツテ置キマス

○入間野政府委員 南支占領地區ニ付キマシテハ、只今ノ所別ニ無統制ニ通貨ヲ持込シテ居ルト云フ事實ハゴザイマセヌ、軍票一本デ進ム大體ノ考デアリマス、尙又南支ニ於キマシテ經濟工作ヲ致シマスニ付キマシテモ、マダ治安ノ状態モ決ラズ、南支ニ於

ケル政權モ確定致シテ居リマセヌヤウナ譯デアリマシテ、果シテドノ地域ニドウ云フ風ニナルカト云フコトモ見透シガ付キマセヌノデ、マダ此ノ點マデ考慮スル時期ニ到達シテ居ナイト存ジテ居リマス

○松尾委員 私ハ今直チニ此ノ紙幣ノ使用ト云フ問題ヲ考ヘルノデナシニ、將來ヲ今日ニ豫メ用意シテ置カレル必要ガアルト思ヒマスガ、ソレ以上ハ議論ニナリマスカラ、是レ以上ハ申上ゲマセヌ

○入間野政府委員 南支ニ於ケル通貨問題ニ付キマシテハ、御意見モアリマシタガ、現地ニ於ケル軍部ノ機關並ニ大藏省カラモ人ガ行ツテ居リマスシ、又正金銀行、臺灣銀行等ノ店モアリマスルノデ、ソレ等ノ間ニ於テ十分研究シマシテ、中央ノ指揮ヲ受ケテ、他日其ノ必要アル場合ニハ直チニ適當ニ對處スルコトモ出來ルダラウト考ヘテ居リマス、尙又有價證券移轉稅ニ付テハ、主稅局關係ノ政府委員ガ參ツテ居リマセヌノデ、便宜説明員カラ申上ゲタイト存ジマス

○竹内政府委員 先程ノ御質問ノ答辯デ、

一寸訂正ヲ許シテ載キタイト思ヒマス、滿洲ノ發券制度ハ、其ノ發行準備ガ、正貨準備ト保證準備、是ハ日本銀行ト同ジヤウニ分レテ居リマシテ、其ノ正貨準備ハ、金銀貨或ハ外國爲替、換言スレバ日本銀行券デアリマスガ、是ガ正貨準備トシテ當テラレ

ルコトニナツテ居リマス、ソレ以外ニ保證準備トシテ國債其ノ他有價證券、確實ナル證券ヲ保證トシテ發行スル、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、正貨準備ヲ要スル率ハ發行高ニ對シテ四割、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○大矢政府委員 現行ノ有價證券移轉稅法中第九條第二號ニ於キマシテハ「地方債證券、勸業債券及命令ヲ以テ指定スル社債券ニシテ額面金額二十圓以下ノモノ」ニ付キマシテハ有價證券移轉稅ヲ課稅シナイ、斯ウ云フ規定ガアルノデゴザイマス、國債ニ付テハ別ニ此ノ規定ガナカツタノデアリマスガ、昭和十二年ニ於キマシテ此ノ有價證券移轉稅法ガ布カレタノデアリマス、其ノ當時ニ於キマシテハ二十圓ヲ下ル國債ハ豫想シナカツタ爲ニ規定ヲ設ケナカツタノデアリマスガ、昨年八月以降二十圓以下ノ國債モ發行セラレヤウニナリ、又近ク同様ノ割引國債モ發行セラレヤウニナリマスノデ、隨ヒマ

シテ現在地方債證券、勸業債券等額面全額二十圓以下ノモノハ免稅ニナツテ居ルノト、權衡ヲ取ツテ國債ニ付キマシテモ同ジヤウニ有價證券移轉稅ヲ課稅シナイト云フノガ提案ノ趣旨デゴザイマス

○岡崎委員長 一寸伺ヒマスガ、先程御說明ノ時ニハ五十圓以下ノ小額ノ公債ハ同様ニ取扱フト云フ風ニ說明ヲ聽イタト思ツタノデスガ、サウデハナカツタノデスカ

○大矢政府委員 ソレハ先程讀上ゲマシタ通り有價證券移轉稅法ノ第九條ニ於キマシテ額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券、斯ウナツテ居リマシテ、是トノ權衡上國債ニ於キマシテモヤハリ二十圓以下ノモノ、斯ウ云フ風ニ致シタイト思ヒマス

○松尾委員 公私餘リ實際ノコトニ携ツテ居ラナイノデ分リマセヌカラ御同致シマスガ、國債ニ於テ免稅點ヲ引下ゲタ場合デアリマスガ、數量ニハ關係ナイノデゴザイマスガ、少シ是ハ分リニクイノデスガ、此ノモノデアレバ數ハ幾ラアツテモ税金ハ免レルト云フコトニナルノデアリマスガ

○大矢政府委員 是ハ有價證券一枚毎ニ見ルノデアリマシテ、數量ハ如何ニ多クトモ一枚毎ニ額面金額二十圓以下ナラバ課稅シナイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○松尾委員 ソレデハ少シ多量ノモノデモ此ノ二十圓券デ取引スレバ免稅ニナルト云フコトニナルノデスネ、例ヘバ一萬圓ノモノハ二十圓デ五百枚買ヘバ一萬圓ノモノガ免稅ニナル譯デスカ

○大矢政府委員 左様デゴザイマス

○小笠原委員 今度ノ支那事變ニ付テ今保證準備ノ擴張案ガ出テ居ル朝鮮銀行、臺灣鐵道並ニ是ハ此ノ案ニ出テ居ラヌガ、橫濱正金銀行等ガ北支、中支、南支方面ヘ或ハ出張員ヲ派シ、或ハ店舗ヲ設ケル等相當活動シテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ狀況ニ付テ少シク御說明ヲ願ヒタイト存ジマス

○入間野政府委員 事變發生以來正金銀行、朝鮮銀行及ビ臺灣銀行ハ軍ト共ニ支那各地ニ參リマシテ、獻身的ニ國家ノ爲ニ努力致シテ居リマスコトハ御示シノ通りデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ行員ハ實ニ艱苦ニ堪ヘマシテ、能ク皇軍ト共ニ行動致シテ居リマスコトハ私共ノ常ニ多シテ居ル次第デアリマス、北支ニ於キマシテハ主トシテ朝鮮銀行ガ其ノ仕事ヲヤツテ居リマシテ、北支ノ奧地ニ於テ國庫事務ヲ扱ヒマスル等ノ爲ニ、常ニ其ノ軍ノアトノ附イテ進

ンデ參ツテ居リマス、中支ニ於キマシテハ臺灣銀行ガ國庫事務等ヲヤツテ活動致シテ居

リマス、又厦門、廣東等ニ於キマシテモ臺灣銀行ガ働イテ居ルヤウナ譯デアリマス、又正金銀行ハ朝鮮、臺灣兩銀行ノ間ニアリマシテ、北支、中支及ビ南支ニ於キマシテ是等ノ銀行ノ手ノ届カナイ所ニ從ヒマシテ活動シテ居リ國庫事務ヲモ扱ツテ居リマス、臺灣銀行及ビ正金銀行ニ付キマシテハ近ク海南島ニモ其ノ店ヲ出シマシテ、彼處ニ行ツテ居ル軍ノ支拂及ビ同地ノ海關收入金ノ徵收等ニ支障ナカラシムルヤウニ努メサセタイト考ヘテ居リマス、尙ホ又御承知ノ北支那ニ於ケル所ノ中國聯合準備銀行、昨年三月ニ設立セラレマシテ短時日ノ間ニ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居リマス、此ノ銀行ニ對シマシテ、朝鮮ノ銀行ガ殆ド親銀行ノ如ク常ニ其ノ面倒ヲ見マシテ、新銀行ノ健全ナル發達ノ爲ニ努力致シテ居リマスコトハ、見逃スベカラザル一ツノ事實デアルト存ジマス、斯ノ如ク三銀行トモ事變目的ノ達成ノ爲ニ、皇軍ト共ニ戰地ニ於キマシテ、非常ナ活動ヲ致シテ居リマスコトヲ御報告致シマスコトハ、私ノ洵ニ光榮トスル所デアリマス

○小笠原委員 ソレ等ノ行員ハ今申サレタ通り、洵ニ涙グマシキマデニ奮闘致シテ居ルヤウデ、吾々國民トシテモ感謝ニ堪ヘヌ

次第デアリマス、ソコデ私ハ御伺スルノデ  
スガ、是等ノ行員ハドウ云フ待遇ヲ受ケテ  
居ルノデアリマスカ、軍カラ何等カノ待遇  
ヲ受ケテ居ル譯デスカ、或ハ單ナル行員ガ  
軍ニ伴ツテ行ツテ居ルト云フヤウナ譯デア  
リマスカ

○入間野政府委員 大部分ノ者ハ軍ノ囑託  
トシテ參ツテ居リマス、併シナガラ其ノ費  
用等ニ付キマシテハ、特殊銀行ノコトデモ  
アリマスノデ、銀行ノ方デソレノ負擔シ  
テ居ルヤウナ次第デアリマス

○小笠原委員 若シ御差支ナケレバ、何處  
何處ト云フ風ニ、銀行名ト其ノ地點トヲ御  
示シ願ヘレバ大變結構デアリマスガ

○入間野政府委員 朝鮮銀行ニ於キマシテ  
事變勃發以來新シク出テ參リマシタ處ハ、  
出張所ト致シマシテ石家莊、太原、濟南、  
派出所及ビ派遣員事務所ト致シマシテ徐州  
彰德、運城、無錫、保定、新鄉、臨汾、是  
等ノ地域デゴザイマス、尙ホ上海ノ中心區  
ニモサウ云フモノガ出來テ居リマス、臺灣  
銀行ニ付キマシテハ、派遣員事務所ヲ出シ  
テ居リマス處ハ、江灣、蘇州、蕪湖、九江、  
武昌、是等ノ地域デゴザイマス、尙ホ正金  
銀行ハ芝罘、杭州、南京ニ派出所ヲ出シテ  
居リマス

○世耕委員 災害被害者ニ對スル租稅ノ減  
免、徵收猶豫等ニ關スル法律案ニ付テ一點  
御伺致シタイト思ヒマス、ソレハ附則ノ所  
ニ「本法ハ昭和十三年中ニ生ジタル災害ヨリ  
之ヲ適用ス」トナツテ居リマスガ、其ノ理由  
ヲ御説明願ヒタイトデアリマス

○大矢政府委員 災害被害者ニ對スル租稅  
ノ減免、徵收猶豫等ニ付キマシテハ、從來  
關東地方ノ大震災ヲ始メト致シマシテ、其  
ノ後豆相地方、三陸地方ノ震災、又函館ノ  
大火、關西ノ風水害、其ノ都度單行法ヲ以  
テ、減免、徵收猶豫ヲ致シテ居ツタノデアリ  
マスガ、關西地方ノ風水害ニ對シ減免シ  
ヨウトシテ法律案ヲ提出致シマシタ場合ニ  
於キマシテ、其ノヤウニ災害ノ都度法律  
ヲ出スト云フヤウニ致シテ居ツテハ、機宜  
ノ處置ニ出デ難イ場合ガアル、議會ノ開會  
時期等ノ關係モアツテ、敏速ニ善後處置ヲ  
致シ兼ネル場合ガアルノダカラ、災害ノ場  
合ニ處スル基本法律ヲ制定シタラドウカト  
云フ御尋ガ委員ノ方カラ出マシテ、當時ノ  
大藏大臣ガ十分考慮シテ見タイト御答シテ  
置イノタデゴザイマス、然ルニ昨年御承知  
ノ通り神戸地方ニ相當大規模ナ災害ガアリ  
マシタシ、又關東地方ニ於キマシテモ土浦  
ヲ中心ト致シマシテ相當ノ災害ガアツタノ

○大矢政府委員 御承知ノ通り所得稅法、  
營業收益稅法ニ於キマシテモ、減損更訂等  
ノ手續等ガゴザイマシテ、現行法ノ運用ノ  
上ニ於テモ或ル程度ノ救済ガ出來ルノデゴ  
ザイマスルガ、震災其ノ他大火、大風水害ト  
云フヤウナ場合ニ、相當廣範圍ニ互ツテ災害  
ガ起リ、人心モ不安ヲ極メテ、租稅ノ執行モ  
平常ノ通り出來ナイト云フヤウナ事情ノア  
リマシタ場合ニハ、特別ニ立法ヲシテ是ガ救  
濟ニ任ジテ居リマス、關東ノ大震災ハ大正十

○世耕委員 私ノ御尋申上ゲタノハ、災害  
ハ十二年ニモ、其ノ前ニモアルデハナイカ、  
ソレヲ特ニ十二年ト限定シタ其ノ理由如何、  
斯ウ云フコトデアリマス

○世耕委員 能ク分リマシタ、モウ一點、  
朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ  
臨時擴張ニ關スル法律案ニ付テ伺ヒマス、  
附則ノ所デ「本法ハ支那事變終了後一年內ニ  
之ヲ廢止スルモノトス」ト特ニ規定サレテ居  
リマスガ、此ノ點ニ付テ少シ御説明ヲ伺ヒ  
タイト思フノデアリマス

○入間野政府委員 朝鮮銀行券及臺灣銀  
行券ハ事變發生以來非常ナル激増ヲ來シテ  
居リマス、即チ其ノ數字ニ付テ申上ゲマス

二年、丹後地方ノ震災ハ昭和二年、豆相地方  
ノ震災ハ昭和五年、三陸地方ノ震災ハ昭和  
八年、函館ノ大火ハ昭和九年、關西地方ノ  
風水害ハ昭和九年、斯ウ云フ大規模ノ災害  
ノ場合ニ、其ノ都度法律ヲ制定シテ是ガ救  
濟ヲシテ來タノデアリマスガ、其ノ後ハ、  
比較的大規模ナ災害ガナカツタノデゴザイ  
マス、然ルニ昭和十三年ニ至リマシテ神戸  
ニ相當大規模ノ災害ガアリ、又關東地方ニ  
於テモ土浦町ヲ中心トシテ相當大規模ノ災  
害ガアツタノデ、是等ニ對シテ適用シタイ  
ト云フノデアリマシテ、昭和十二年以前ニ  
於テハ別ニ之ヲ適用シナケレバナラヌヤウ  
ナモノハナク、現行法ノ運用ニ於テソレゾ  
レ今日マデニ十分始末ガ付イテ居ル次第デ  
ゴザイマス

レバ、昭和十三年中ノ平均發行高ハ朝鮮銀行券ハ二億六千四百餘萬圓、臺灣銀行券ハ一億一千餘萬圓デアリマシテ、事變直前ノ一箇年、即チ昭和十二年ノ六月以前一箇年ノ平均發行高ハ、朝鮮銀行券ガ一億六千五百餘萬圓、臺灣銀行券ガ七千餘萬圓、之ニ比ベマストソレト九千八百餘萬圓及四千餘萬圓ノ増加ヲ示シテ居リマシテ、其ノ割合ハ朝鮮銀行券ニ付キマシテハ五九%、臺灣銀行券ニ付キマシテハ五八%ニ及ンデ居ルデアリマス、斯ノ如ク事變發生以來膨脹シテ參リマシタ所ノ銀行券ノ發行高ニ對シマシテ、今回其ノ保證發行限度ヲ擴張セントスルモノデアリマシテ、支那事變ニ關聯シテ斯ノ如キ措置ヲ執リマシタノデ、支那事變終了後一年以内ニ此ノ法律ヲ廢止スル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、斯ノ如キ立法例ハ臨時資金調整法、ソレカラ只今御審議願ツテ居リマス昭和十三年法律第六十四號、其ノ他事變立法ニ其ノ例ガアルノデアリマシテ、事變終了後ノ情勢ヲ見マシテ後始末ヲ付ケタイ、ソレヲ一年ト致シマシタノハ、其ノ間ニ議會ガ開カレルコトモアリマスルノデ、立法手續ヲ以テ後始末ヲスル場合ハ、豫メ又法律ノ形ヲ以テ御審議願フ、斯ウ云フ趣旨カラデゴザイマ

シテ、斯ノ如ク事變終了後一年以内ニ之ヲ廢止スルコトニ致シテ居ルノデアリマス

○世耕委員 先程田万君カラ御質問ガアツタヤウニ思ヒマスガ、朝鮮、臺灣銀行並ニ日本銀行トノ關係ヲ調整スル意味ニ於テ斯ウ云フヤウナ事ヲ特ニ附加ヘタト云フヤウナ意味ハゴザイマセスカ

○入間野政府委員 此ノ附則ヲ附ケマシタ理由ハ、先程申上ゲマシタヤウニ支那事變ニ關聯シタル臨時ノ措置デアリマシタノデ、支那事變ガ終了致シマスト此ノ臨時ノ措置ヲ廢メテ、恆久的ニ更ニ何等カ考慮ヲ廻ラサナケレバナラナイノデハナイカ、斯ウ考ヘマシテ斯ノ如キ附則ヲ附ケタ次第デアリマス

○世耕委員 モウ一點御伺フ致シマス、昭和十三年法律第六十四號中ノ改正法律案ノ中ニ、十七億圓ヲ二十二億圓ニ改メルト云フコトガ書イテアリマスガ、是デズツト押セル積リデアリマスガ、又將來經濟上其ノ他ノ事情デ改正スルノ要アリト考ヘラレマスカドウカ、此ノ點簡單ニ御尋シタイ

○入間野政府委員 今回兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ五億圓擴張致シマシテ二十二億圓トスルコトニ致シタノデゴザイマスガ、是ハサウ遠イ將來ヲ豫想ヲ致シタノデハア

リマセヌ、臨時立法デゴザイマスノデ、殊ニ又此ノ法律ハ支那事變終了後一年以内ニ廢止スルコトニモナツテ居リマスノデ、大體コ、當分ノ間はデ宜カラウト考ヘマシテ、斯ノ如キ立法ヲ採ツタ次第デゴザイマス

○世耕委員 私ハ是デ濟ミマシタ

○岡崎委員長 私ハ一寸伺ヒマスガ、此ノ法律ニハ支那事變終了後一年ト云フコトハ書イテゴザイマセスカ……

○入間野政府委員 只今御審議ヲ願ツテ居リマスル法律案ハ改正法律案デアリマシテ、其ノ元ノ法律ノ附則ニ其ノ點ガ明記シテゴザイマス

○岡崎委員長 分リマシタ——本日ヲ以テ質問終了ト致シマシテ御異議アリマセスカ

○世耕委員 ドノ分ヲ質問終了ニ致シマスカ、全部デスカ、私ノ方デハ留保シテ欲シイノガアルノデスガ

○岡崎委員長 ソレデハ公債發行ノ法案六件、兌換發行ノ法案二件、此ノ問題ニ對シテ質問ヲ終了シタモノト認メマス、税法三件ハ後廻シニ致シマス、ソレデハ是デ散會致シマス、明日ハ正午後一時開會致シマシテ、討論ニ入りタイト思ヒマス

午後二時三十分散會

昭和十四年三月十五日印刷

昭和十四年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局